

計量管理協議会々報

創立 50 周年記念特集号

平成 26 年 10 月

千葉県計量管理協議会

目 次

1. 千葉県計量管理協議会 会長挨拶	1
2. 祝 辞	3
1) 千葉県知事	3
2) (一社)計量管理協会会長	4
3. 千葉県計量管理協議会 創立50周年記念式典	5
(記念講演)	
・時間、長さの定義の移り変わりと質量の定義の変更について	
(特別講演)	
・日本版 GPS 衛星みちびきと測位精度向上がもたらす未来	
4. 歴代会長事業所からの寄稿	14
5. 創立 30 周年～50 周年のあゆみ	21
6. 平成 25 年度会員事業所の概要	51
7. 千葉県計量行政 20 年(1995 年～2014 年)の変遷	56
8. 広告特集	67

—1. 千葉県計量管理協議会 会長挨拶—

50周年を迎えて

千葉県計量管理協議会
会長 吉田 栄



千葉県計量管理協議会は、お蔭様で創立50周年の記念すべき節目を迎えることができましたことに、会員の皆様と共に心からお祝い申し上げます。

これはひとえに関係官公庁、関係団体を始め会員の皆様方のご指導、ご支援の賜物であり、衷心より御礼申し上げます。

当協議会は昭和40年3月9日に47社の参加で創立されて以来、関係官公庁並びに関係各位のご協力により、本年10月現在会員数61社をもって毎年、研修・発表見学会、意見交換会、表彰・広報活動を行い、設立の主旨である計量管理を通して企業の合理化、品質の改善、および適正な取引、安全確保等に努めており、会員さらには千葉県産業経済の発展に寄与してきたものと自負しております。

さて、設立後50年を経過した今日、計量・計測に関する技術は飛躍的に進歩いたしました。これに伴い計量法も旧計量法（昭和26年）が平成4年に全面改訂され、もともとは日本の計量基準を定め、取引が統一基準の下に行われることを目的とした法律（度量衡法）であったものを、現在の計量法では国際単位系（SI）の採用により、国際的に計量基準を統一することと、各種計量器の正確さを維持するためのトレーサビリティの維持という主目的に変わってまいりました。このため当協議会の活動も新たな計量・測定技術の紹介や管理技術に関する講演会、見学会、又、管理優秀な会員の表彰とその管理状況を発表して頂くなどの相互の交流を図ってきました。又、当協議会を安定及び継続的に活動を行うべく第43次通常総会（平成19年5月18日開催）にて理事会運営を平成21年度から輪番にて行うことが決定され今日に至っております。

昨今日本を取り巻く状況は、平成20年のリーマンショック以降、民主党による政権交代、円高不況、東日本大震災とその後の復興、自民党政権の復活とアベノミクスの景気刺激策、海外から中国を始めとするBRICSの台頭躍進に伴う国内産業の空洞化加速、アラブの春を始めとする地政学的リスクの増大がイスラム社会だけでなく東欧、東南アジアでも発生し、状況は刻々と変化しております。これらの変化に対して我々協議会会員各社も日々対応に追われているものと思います。

当協議会といたしましても今後更なる変化に対して確実に対応し、各社の安定した発展・成長を促すべく、計量管理技術を研磨させる必要があると強く感じております。そのためには検定所・計量協会を始めとする関係機関との連携をこれまで以上に深め、会員相互のネットワークをより強固と

し、各種活動を通して会員各社の発展の一助のなりえるよう努力を行ってまいり所存です。今後の60周年、70周年、100周年に向けて有意義な活動ができますよう当協議会活動への更なるご理解とご協力をお願いする次第であります。

本年10月17日には50周年記念事業として(独)産業技術総合研究所から西川様による計量技術に関する講演と宇宙航空研究開発機構(JAXA)から久野様による特別講演を、非会員企業約10社の参加も加え総勢70名で開催し、講演後には親睦会も実施することで50周年のお祝いを盛大に行いましたことをここに報告いたします。

最後に講演会開催及び記念会報誌の作成を行ってくださった担当理事及び事務局の方々、いろいろとアドバイスを頂きました検定所の方々、記念会報誌の作成にご協力いただいた会員の皆様に厚く御礼を申し上げますと共に、会員各社及び当協議会のますますの発展を祈念いたしまして、創立50周年のお祝いの挨拶とさせていただきます。

－2. 祝 辞－

祝 辞

千葉県知事 森田 健作



千葉県計量管理協議会が創立50周年を迎えられますことを心からお祝い申し上げます。

貴協議会は、昭和40年の設立以来、長年にわたり計量管理を通して、企業の合理化や品質の改善、適正な取引、安全確保等に努められ、本県の産業と経済の発展に大きく寄与されてこられました。吉田会長をはじめ、歴代の役職員、会員企業の皆様のこれまでの御尽力に、深く敬意を表します。

今、千葉県は、東京湾アクアラインの通行料金引き下げや圏央道の整備進展、成田空港の機能強化など、そのポテンシャルの高まりを受け、さらなる飛躍の時を迎えています。

また、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。東京に隣接し、日本の空の玄関である成田空港を擁する千葉県としては、この機会を県内経済の活性化に最大限生かし、本県のさらなる発展を次世代にしっかりと引き継いでいくことが重要であると考えています。

人・物・資本・情報などあらゆる分野でグローバル化が進む中、計量分野も例外ではありません。県内企業にとって、新製品開発や海外展開を図るためには、国際ルールに迅速かつ適格に対応していく必要があり、貴協会に果たしていただくべき役割は非常に大きなものがあります。

計量管理は、私たちの日常生活や企業活動における公益性の高い社会の基盤です。

県としては、今後とも貴協議会と連携を図りながら、計量技術の向上や計量思想の普及啓発などの計量行政を推進し、県民生活の安全・安心の確保に努めるとともに、本県の有するポテンシャルや様々な機会を活用して、産業・経済の発展を図ってまいります。そして、県民の皆様が「千葉に生まれ、千葉に住み、本当によかった」と心から誇りと自信を持てる「日本一の光り輝く千葉県」の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、貴協議会の皆様には、御理解、御協力をお願い申し上げます。

結びに、千葉県計量管理協議会のますますの御発展と、会員企業の皆様の御発展を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

— 2. 祝 辞 —

千葉県計量管理協議会創立50周年に寄せて

一般社団法人千葉県計量協会
会長 惠藤 敏郎



千葉県計量管理協議会が50周年の記念すべき節目の年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴協議会は、昭和40年3月9日に設立されて以来、一貫して計量管理の普及啓発に努められ、計量の自動化、合理化、省力化等の推進に先導的役割を果たしてこられました。

これも偏に歴代の会長をはじめ役員、会員の皆様の熱意と不断の努力の賜物であると深く敬意を表する次第でございます。

この間、高度経済成長、オイルショック、バブル経済とその崩壊、地球規模での温暖化の進行等、産業を取り巻く社会経済環境も大きく変化してまいりましたが、貴協議会の皆様におかれましては、時代の要請と顧客の要望に応えるため、組織の強化を図るとともに革新技術情報をいち早く入手し、県内の様々な産業の発展にご尽力されてこられました。

さて、設立50年を経過した現在の日本経済におきましては、政府の掲げるアベノミクス効果により経済の回復基調へと推移し、加えて2020年の東京オリンピックの開催などによる内需拡大に大きな期待が寄せられております。

また、昨年の富士山及び今年の富岡製糸場の世界遺産登録等、明るい未来を感じさせてくれる話題が続きました。

しかし、計量関係業界におきましてはまだまだ厳しい環境下におかれ、各企業におかれましては、生産性の一層の向上はもとより、コストの引き下げ、合理化、工場の海外へのシフト、企業の再構築等に取り組んでいるところであり、さらに近年は環境問題が大きく取り上げられ、機能、効率はもとより、地球環境に適合した環境技術が求められており、それらを効率的に実施していくには、計量、計測技術の寄与が今後ますます必要不可欠となってまいります。

このような状況の中で、貴協議会におかれましては、会員相互のコミュニケーションを図りながら、時代の変化に柔軟に対応し、会員の皆様のニーズに適應した事業活動を積極的に展開し、計量管理の普及、技術の向上に努められ、着々と実績を積み上げられてこられました。

貴協議会におかれましては、過去50年間の輝かしい実績を基礎として、時代に適應した計量管理の普及推進を通して県内産業の発展に寄与されると共に 貴協議会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

－3. 千葉県計量管理協議会 創立50周年記念式典－

千葉県計量管理協議会 創立50周年記念式典

去る10月17日に当協議会の「創立50周年記念式典」が開催され、盛会のうちに無事終了しました。ここにその概要をお知らせいたします。

日 時 : 平成26年10月17日(金)
14:00～

場 所 : 千葉市中央区
「オークラ千葉ホテル」

参加者 : 会員47名 他21名 計68名



来 賓 :

千葉県計量検定所	所長	秋場 秀樹 様
千葉県計量検定所	次長	島田 悦男 様
千葉市消費生活センター	所長	椎名 智久 様
(一社)千葉県計量協会	会長	恵藤 敏郎 様
千葉県計量証明事業協会	会長	溝口 剛 様
千葉県計量協会大型店部会	会長	高橋 芳明 様
(株)日本計量新報社	代表取締役	横田 俊英 様

<記念式典の概要>

(1) 開会の辞

総合司会を務める千葉県計量管理協議会理事の東京ガス株式会社 岩崎文則計装システムグループマネージャーより開会の挨拶を述べて開会した。

(2) 会長挨拶



千葉県計量管理協議会会長のDIC株式会社 千葉工場 吉田栄工場長が挨拶を述べた。

(内容は本特集号 1. に記載)

－3. 千葉県計量管理協議会 創立50周年記念式典－

(3) 来賓祝辞

千葉県計量検定所長 秋場 秀樹様



本日、ここに千葉県計量管理協議会の創立50周年事業記念講演が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。貴協議会は、昭和40年の設立以来、適正な計量管理を通して、本県の産業はもとより、日本の経済発展に大きく貢献してこられました。これもひとえに吉田会長をはじめ歴代の役職員、会員等の関係者の皆様のご努力の賜物と改めまして敬意を表します。

さて、千葉県には、優れた技術や製品の先進企業が多く集積しております。県としましても総合計画である「新輝け、千葉元気プラン」を支える計画の一つとして「明日の千葉を創る産業振興ビジョン」を策定しており、その中で成長が見込まれる健康・医療関連の産業分野などの推進に向けて、優れた技術等との医工連携など、戦略的に県経済の活性化を推進しているところです。

新製品開発や独自技術による海外展開に活路を求める時代に、計量分野においても例外ではなく、海外規格等に迅速かつ的確に対応していくことが重要となっております。とくに、CEマーキングやRoHS規制といった国際規格の規制の波が、最近では、東南アジア各国までそれに追随するようになってきている状況にあります。そうした規制への対応は、自己責任で行わなければならないとか、規制自体の頻繁な改正など、計量計測技術の正確性や対応のスピード化が求められ、計量管理にかかわる皆様の役割がさらに重要となってくるものと思われま

す。計量検定所といたしましては、今後とも貴協議会と連携を密に本県の持つ優れたポテンシャルや様々な機会を活用いたしまして、産業・経済の発展を図り、そして計量法の第1条目的にもあります文化の向上に寄与してまいる所存です。そして、森田知事が申しております「日本一の光り輝く千葉県」の実現に向け、貴協議会の皆様には、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、千葉県計量管理協議会の益々の御発展と本日御列席の皆様の御健勝を御祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。本日は、おめでとうございます。

－3. 千葉県計量管理協議会 創立50周年記念式典－

(4) 記念講演

時間、長さの定義の移り変わりと質量の定義の変更について

独立行政法人 産業技術総合研究所
計測標準研究部門 法定計量科 法定計量室
西川 一夫



昨今、取り扱いとしては決して大きいとは言えませんが、質量の定義見直しについてニュースになることがあります。

2011年の第24回国際度量衡総会(CGPM)において、4つの定義(質量(キログラム)、電流(アンペア)、熱力学温度(ケルビン)、物質量(モル))の再定義の合意が得られたことにより、最も身近な単位であり、唯一、人工物による定義となっている「質量(kg)」が注目されています。

(独)産業技術総合研究所 計量標準総合センター(AIST/NMIJ)でも研究成果の発表、新聞社からの取材、テレビ番組の取材協力などを通じて広報活動を行ってきました。

今回の講演では、時間と長さの定義の変遷に加え、質量の定義について紹介します。

(1) 時間の定義と新しい定義の候補

時間の単位は「秒」で、セシウム133の原子の基底状態の二つの超微細構造準位間の遷移に対応する放射の周期の9 192 631 770倍の継続時間である、と定義されています。日本では計量法により特定標準器として、協定世界時に同期した原子時計であって(独)産業技術総合研究所と(独)情報通信研究機構が保管するものとされています。時間の定義については、2012年のメートル条約関連会議でNMIJが開発したイッテルビウム(Yb)光格子時計が新しい秒の定義の候補(秒の二次表現)として採択されたように、今後、時間の定義が見直される可能性があります。

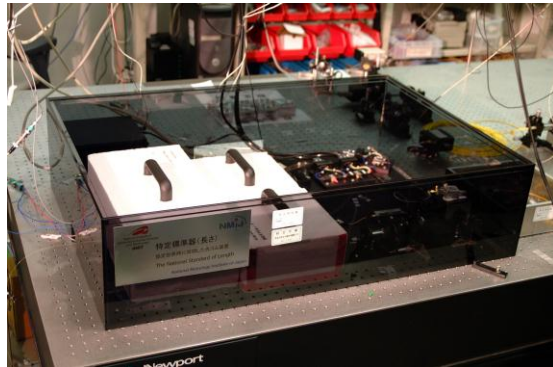
(2) メートル原器と特定標準器(国家標準)

長さの単位は「メートル」で、1秒の299 792 458分の1の時間に光が真空中を伝わる行程の長さであると定義されています。長さの定義については1899年から1960年までの間は「メートル原器」とされてきましたが、定義の見直しにより、現在はその役目を終えています。その後もNMIJでは「メートル原器」を厳重に保管管理してきましたが、2012年9月に文部科学大臣より、我が国の近代度量衡制度における歴史的、学術的価値が評価され、重要文化財の指定を受けました。

正式な指定名称は「メートル条約並度量衡法関係原器」でメートル原器1本、メートル副原器1本、尺原器2本が本指定を受けています。なお、附(ついたり:原器を補うもの)としてトンヌロー温度計2本とメートル原器校正証明書1通があります。



メートル条約並度量衡法関係原器



光周波数コム装置

長さに関しては、2009年に長さの国家標準(特定標準器)にNMIJが開発した「協定世界時に同期した光周波数コム装置」が指定されました。従来の国家標準であった、633ナノメートルよう素分子吸収線波長安定化ヘリウムネオンレーザ装置に対して300倍の精度と複数の波長に対応、堅ろう性に優れています。新たな特定標準器の開発によって産業界においても精度と信頼性の高い測定が可能となりました。

(3) キログラム原器から新たな定義に向け

質量の単位は「キログラム」で、今後この原器は質量の単位と見なされる、となっています。この原器とは「国際キログラム原器」のことです。さらに第3回国際度量衡総会で、キログラムは質量の単位であって、単位の大きさは国際キログラム原器の質量に等しい、との声明が出されています。

国際キログラム原器は1889年の第1回国際度量衡総会において白金90%、イリジウム10%の合金で作られた直径と高さが約39mmの円柱形の分銅です。同じ材料、同じ形状の40個のキログラム原器が造られ、国際キログラム原器と比較して質量が値付けされた後に、メートル条約加盟国に配られました。

日本は1890年(明治23年)にキログラム原器No. 6(正原器)とNo. 30(副原器)を日本キログラム原器として受領し、現在でも日本の質量の標準となっています。

7つのSI基本単位で唯一、人工物による定義となっている質量は2011年の第24回国際度量衡総会において基礎物理定数によるキログラムの再定義を実施する合意が得られており、各国研究機関では様々な定数測定方法の研究が進められています。産総研ではアボガドロ国際プロジェクトに参加し、シリコン単結晶球によるアボガドロ定数の精密測定を基にして、均一なシリコン結晶から物体の中に含まれる原子数を正確に測定する研究を進めています。



(4) NMIJホームページ

今回紹介した、定義とその変遷を含め、研究成果などはNMIJホームページ(<https://www.nmij.jp/>)で詳細な内容を確認することができます。

また、イベント・講演会の案内、研究成果の発表などの掲載に加え、校正・試験業務についての案内もしており、今後も最新の情報や計量・計測の知識など随時更新して参りますので、NMIJホームページを活用していただければ幸いです。

写真提供：産業技術総合研究所

－3. 千葉県計量管理協議会 創立 50 周年記念式典－

(5) 特別講演

日本版 GPS 衛星みちびきと測位精度向上がもたらす未来

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
第一衛星利用ミッション本部 衛星測位システム技術室
久野 晃太郎



1) 準天頂衛星システム (Quasi-Zenith Satellites System)

近年、アメリカの GPS をはじめとして、ロシアの GLONASS、欧州の Galileo、中国の BeiDou、インドの IRNSS などの測位衛星が次々と打ち上げられている。日本でも、2010 年 9 月 11 日に準天頂衛星初号機「みちびき」(以下 QZS-1)が打ち上げられ、先日 4 周年を迎えた。準天頂衛星システムは、「いつでも」「どこでも」高度な衛星測位利用を実現するために開発されたシステムで、少なくとも 3 機の衛星を、軌道傾斜角を持つ地球自転同期楕円軌道上に配置し、衛星が順番に日本上空に飛来することで、常時天頂方向に 1 衛星が見えるという特徴を有する。2014 年現在 1 機が運用中であり、日本付近においては 1 日のうち 8 時間程度天頂方向に見える状況であるが、今後さらに 3 機が打ち上げられ、2018 年には 4 機体制(うち 1 機は静止軌道)による 24 時間サービスの開始を予定している。

2) 複数 GNSS 時代の到来と高精度測位ニーズの高まり

図 1 は今後 10 年間で想定される各国の測位衛星数の合計を示したもので、数年のうちに 100 機以上の測位衛星が軌道上を周回するようになると予想されている。様々な測位衛星システムをあわせて“複数 GNSS”と呼んでおり、これらを用いることにより、より広範囲で、より信頼性の高い測位を実現することができる。特に、アジア地域は QZSS をはじめとしたリージョナルな測位衛星の配備が多く、複数 GNSS の恩恵を最も受けられる地域である。現在、GPS は防災をはじめ、精密農業、ITS、気象、低軌道衛星軌道推定などの幅広い分野で活用が進んでいるが、今後は複数 GNSS への対応や、RTK(Realtime Kinematic)や VRS(Virtual Reference Station)方式をはじめとする cm 級の高精度測位サービスへのニーズも高まってゆくと予想される。

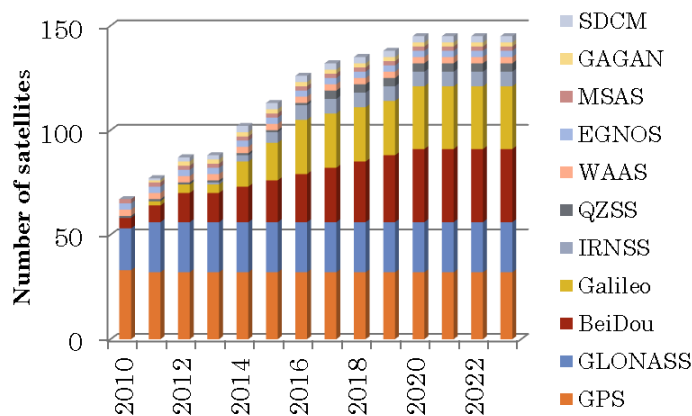


図 1. 今後 10 年間の測位衛星の配備予測

3) 単独精密測位 PPP と MADOCA

JAXA では QZS-1 の LEX(L-band Experiment)信号を用い、単独精密測位(PPP:Precise Point Positioning)により 1 台の GNSS 受信機により数 cm 級の高精度測位を実現する次世代衛星測位システムの基盤技術の開発を行っている。PPP とは、各地に配置されたモニタ局の観測データを元に推定した GNSS 衛星の高精度な軌道・時刻情報などを用いることで、RTK 方式等で必須であった基準局を用いることなく、簡便に高精度測位を実現する手法である。

現在、GNSS 衛星の高精度軌道・時刻推定ツールとして「MADOCA (Multi-GNSS Advanced Demonstration tool for Orbit and Clock Analysis)」を開発しており、本ツールで推定した複数 GNSS に対応した精密軌道等の情報を LEX 信号で送信している。ユーザは LEX 信号を用いることで、複数 GNSS を利用した高精度 PPP 測位を行うことができ、リアルタイムでのユーザ測位精度として水平 10cm、垂直 20cm(RMS)を実現している。さらには数 cm 級を目指して研究開発を進めている。

4) 高精度測位の応用実験例の紹介

■GPS 波浪計への応用

JAXA では日立造船等と共同で、GPS 波浪計の測位精度向上及びより沖合へ配備するための応用実験を進めている。津波の早期検知のためには、ブイをより沖合に設置することが望ましいが、従来の GPS 波浪計では RTK 測位方式やデータ通信の制限から海岸の基地局から 20km 程度の距離が限界であった。これを解決するために実施した応用実験により QZS-1 の特徴である LEX 信号を用いて MADOCA で推定した GNSS 衛星の軌道・時刻情報を海上のブイに配信し、PPP-AR 測位方式による cm 級の潮位測位が可能であること、また解析結果を人工衛星 ETS-VIII 経由で遠く離れた地上基地局へ送信可能であることを確認した。引き続き JAXA では協力機関とともに、より高信頼性のシステム構築のために実験を行う予定である。

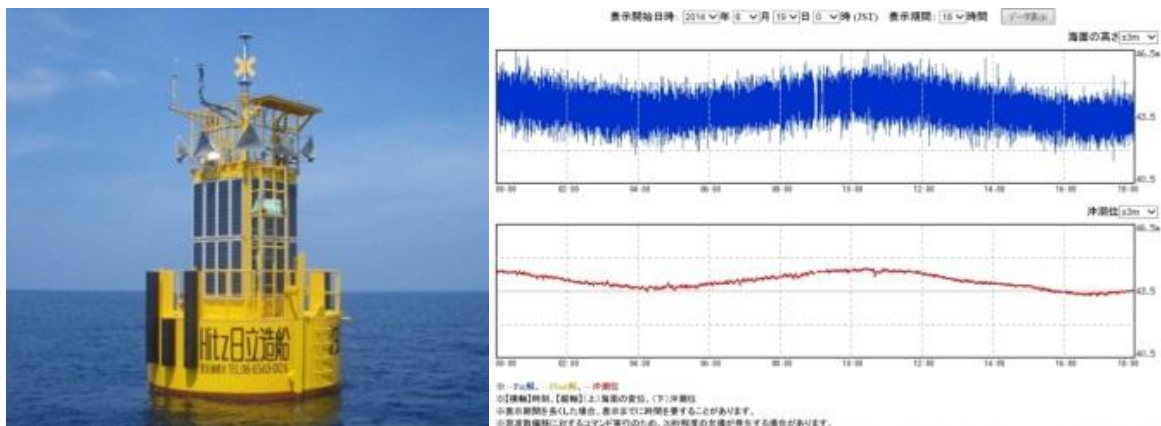


図 2.GPS 波浪計の測位結果

■自動車への応用

JAXA はデンソー、NEC と共同で MADOCA を用いた PPP 測位の自動車への応用実験を行っている。初めに基礎実験として、自動車の高速走行時においても、高精度な測位結果がリアルタイムに得られるかどうかの検証を行った。時速 50km での走行実験の結果、PPP により VRS 等のネットワーク RTK 方式と同等の高精度が、リアルタイムで得られることが確認された。今後も引き続き自動車への応用に向けた実験を行う計画である。

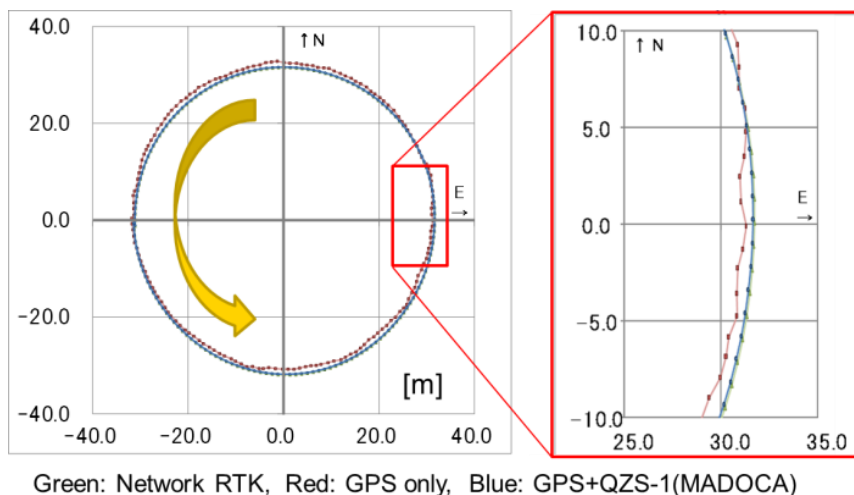


図 3. 走行実験(時速 50km)における測位結果

5) 今後の展望

QZSS の 4 機体制、または来たる複数 GNSS 時代の到来に向け、「いつでも」「どこでも」というコンセプトを実現し、準天頂衛星システムを使った衛星測位技術の応用によって、高齢化社会、食料の自給率、自然災害といった日本が抱えている問題に貢献するため実験を進めていく。

－3. 千葉県計量管理協議会 創立50周年記念式典－

(6) 閉会の挨拶



千葉県計量管理協議会第一副会長である富士石油(株)袖ヶ浦製油所 水芦 秀夫生産技術部長が閉会の挨拶を述べた。

以上で、創立50周年記念式典を終了した。

(7) 交歓会

記念講演終了後、会場を移動して交歓会が開会された。交歓会冒頭に第一副会長である富士石油(株)袖ヶ浦製油所 水芦秀夫生産技術部長の発声で乾杯し、開宴した。出席者全員で和やかに歓談の後、第二副会長である(株)荏原製作所富津工場 横田 洋品質管理グループ長の音頭により18時45分散会した。



第一副会長による乾杯



第二副会長による閉会挨拶



乾杯する出席者

－4. 歴代会長事業所からの寄稿－

50年（1995年～2014年）を振り返って

第18代会長事業所

極東石油工業合同会社 千葉製油所

執行役員 千葉製油所長 柿木 寿



千葉県計量管理協議会が、創立50周年の慶事をお迎えになられたこと、誠に喜ばしく心よりお祝い申し上げます。

千葉県計量管理協議会は、計量に関する法規ならびに新技術の情報の早期入手に努められ、計量管理業界の発展に中心的な存在になっています。

これも偏に千葉県計量管理協議会の運営に携わってこられた、関連団体、会員の皆様方の努力と千葉県計量検定所のご支援があったものと節に考えます。

20年を振り返ってみますと、バブル崩壊による景気悪化が続いたものの、弊社が会長に就任した平成11年～12年頃は、アジア経済の回復などの影響で、緩やかな成長を見せかけた時期でもありました。しかし、国際的な金融危機となったリーマンショックなどが成長の妨げになったことは言うまでもありません。

このような経済状況の下、千葉県計量管理協議会はその都度運営方法や組織の見直しなどをおこない、常に先を見据えて行動され、会員が一丸となって社会に貢献すべく正しい計量管理の維持に努められ、多くの優良事業所及び優良計量技術者を発掘しており、計量業界の発展に寄与してられました。

最近の経済状況は、明るい兆しを見せているものの、企業の再編、海外への移転などによる内需減少や環境意識への高まりなど、経済を脅かす出来事に歯止めが付かない状況になっています。ただ、千葉県計量管理協議会に求められているものは、計量管理の発展への推進には変わることはないと思われまます。

ここに50年という節目にあたり、会員が更に一致団結して、計量法の目的でもある「適正な計量の実施」、「経済の発展及び文化の向上に寄与すること」を基本理念とし、今後も計量計測・環境・安全などについて、世の中のニーズに合った事業の発掘や技術者向上の推進に努められ、新たな千葉県計量管理協議会へと躍進することを期待して祝辞とさせていただきます。

－4. 歴代会長事業所からの寄稿－

千葉県計量管理協議会 創立50周年を迎えて

第19代会長事業所

三井化学株式会社 市原工場

技術部 制御グループリーダー 鈴木康弘



千葉県計量管理協議会が、ここにめでたく50周年を迎えましたことを心からお祝い申し上げます。

50周年特別記念会報を発行するにあたり、平成13年度、14年度の会長を仰せつかった折以来、会員の皆様にご挨拶する機会を与えて頂きましたことを深く感謝いたしますとともに、事務局並びに会員の皆さんに厚く御礼申し上げます。

さて50年前といえますと当事業場は工場建設を開始したところであり、当協議会の発足3年後の昭和42年に三井石油化学工業(株)千葉工場として操業を開始し、その後、平成9年に三井東圧化学(株)と合併し、現在の三井化学(株)市原工場となりました。そういう意味で言いますと、当事業場の歴史は当協議会よりも若干短いものの、ほぼ同じ時代を過ごしてきたこととなります。

13年前の会長時代はどうだったか？と思い返したところ、創立37年が経過し、会員会社数91社で構成する全国有数の計量協議団体でありました。

時代は流れ創立50年の現在においても、私たち生産に携わる者は、生産管理の原点である正確な計量・計測を旨として当協議会の目的である「計量管理を効果的に実施しもって企業の合理化、生産性向上、品質改善、コスト引き下げ及び取引の適正、安全の確保等」に繋げていかねばと感じる点は何ら変わるものではありません。

このような中、各企業はISO9001(品質)、ISO14001(環境)、OHSAS18001(安全)等のマネジメントシステムを導入し、継続的改善を行いながらその時代を勝ち残る為の変革に取り組んでいるものと思います。それぞれのシステムは、言うまでもなくその基盤である「設備管理」が確実になされていることを前提に成り立つものです。会員の皆様は、設備管理の中の計量・計測に係っている訳ですからその果たす役割について、品質保証、環境保全及び安全管理において不可欠な技術であることを十分理解いただいているものと思います。計量・計測に係る設備管理は、幅広い技術や情報が必要である上、生産性の向上や品質の確保をするためには今まで以上に重要性が増しており、更なる飛躍が期待されています。

このような時に、当協議会が栄えある50周年を迎えましたことは、非常に意義深いものがあり今後の当協議会の運営、皆様の一層のご活躍に期待するところ大なるものがあります。幸い製鉄、化学、精製、食品、計器製造・保全等の多方面、広範囲にわたる会員で構成されている当協議会でありますので、会員相互の親睦を深め、情報、知識の交換を行い、当協議会を不滅のものとし100周年さらには永遠の存続に向かって邁進するよう祈念いたします。

－4. 歴代会長事業所からの寄稿－

計量管理協議会創立50周年に寄せて

第20代会長事業所

ライオン株式会社

千葉工場長 井口 正克



千葉県計量管理協議会が創立50周年を迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。

創立当時の50年前を振り返ってみますと東海道新幹線の開通・東京オリンピック等の歴史に残る開催がありました。

昭和39年に開催された東京オリンピックで日本は、オリンピック景気に沸き、一般の家庭でもカラーテレビ、車、クーラーが普及し、日本は、世界でトップクラスの国民総生産を誇る経済大国に成長しました。

このような時代の中で昭和40年3月に計量管理協議会が創立、半世紀という長い年月が過ぎ、現在もご発展されているのも関係官庁、並びに諸先輩役員、会員各社様のご努力によるものと深く感謝と敬意を表します。

弊社、千葉工場は、平成15年に会長職という大任を承り、各関係者の方々と鋭意努力をさせていただきます。

さて、現在の我が国の製造業は、環境に負荷を掛けずに成長する「環境経済成長」の実現が望まれている等々、変化の激しい時代を迎えております。

その為には、地球温暖化対策、廃棄物削減・リサイクル推進等の地球環境問題に対する取り組みを更に充実させなければなりません。

従って、我々生産に携わる者にとって安全は基より、環境保全是、最重要課題であり、コンプライアンスや生産効率化の為、計量計測及び関連する技術は益々、重要性を増しております。

これらの基盤となる技術は、計量技術であり、計量管理であると言っても過言でないと思います。

今後も協議会関係者の情報交換、相互研鑽及び監督官庁のご指導をいただき、法の遵守、環境保全に積極的に取り組み、企業一丸となって全力を尽くしていく所存です。

最後になりますが、計量検定所をはじめ関係官庁の皆様、会員皆様方のご健康と益々のご繁栄をお祈り申し上げ、祝辞とさせていただきます。

－4. 歴代会長事業所からの寄稿－

創立50周年特別記念会報に寄せて

第21代会長事業所

新日鐵住金株式会社君津製鐵所

設備部長 本田 毅



千葉県計量管理協議会が発足以来50周年を迎えましたことを心からお祝い申し上げます。50周年の特別記念会報を発行するにあたり、2005年から2年間、第21代会長として務めさせていただきました当時の小谷、渡辺に代わってご挨拶を申し上げます。

当時は、協議会としても変化の時代だったと伺っております。当時の会員数は約80社と現在より20社程度多いものの、減少傾向をたどっていたことから、会の活動の質を維持しつつ、会務を担当する実務担当者の労力軽減や効率化を進めるため、会報の電子化やホームページ作成、理事の輪番制など、さまざまな改革がなされて今日の協議会の運営が円滑に行われています。

弊社は2012年10月に合併により新日鐵住金となり、総合力世界No. 1の鉄鋼メーカーを目指して、最適生産体制の確立、グローバル化を進めているところです。君津製鐵所は、薄板や厚板、線材、形鋼、鋼管の主要5種類の製品を全て製造する事業所で、多数の製造プロセス、製品製造ラインを有しております。また、その中で使用される計測機器は多種多様に渡り、製造プロセスを支えております。特に製品の品質を左右する計測器はいわゆる品質保証用や管理用計測器として管理しており、ものづくりのうえでも重要な要素のひとつとなっています。さまざまな使用条件で製品の品質を保證するための計測機器は、常に適切な精度が維持されていなければなりません。そのため、標準化や啓蒙活動を行う計量管理は非常に重要であり、今後の協議会の活動にも期待するところであります。

最後に、千葉県計量検定所所長はじめ所員の方々の変わらぬご指導とご協力を会員の皆様とともに感謝申し上げますと共に、協議会の今後の益々のご発展と会員皆様のご多幸をお祈り申し上げます、挨拶とさせていただきます。

－4. 歴代会長事業所からの寄稿－

創 立 50 周 年 に 寄 せ て

第22代会長事業所

出光興産株式会社 千葉製油所

千葉製油所長 佃 一郎



この度は、千葉県計量協議会殿におかれましては、めでたく50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。歴代の会長、役員と会員の皆様方の御努力により、長年千葉県産業経済の発展に寄与されてきたことに敬意を表します。弊社千葉製油所も2013年に50周年を迎えることができました。計量に関する問題も無く来られたのも千葉県計量協議会の御支援によるものと深く感謝しております。

さて、貴会が設立された1964年を振り返ってみますと、日本人の海外観光渡航自由化が始まった年であり、人々の目が海外へと大きく向けられた年になります。現在では観光だけでなく、国内の産業もグローバル化が進み、数多くの企業が海外進出しております。弊社も含めた石油業界もこの波に違わず、国内の需要減衰と共に国内製油所の再編成や海外展開を行なっておりますが、こと計量に関しては国内外問わず、適正な運用と計量管理技術を向上させていくことが我々の使命であると考えています。

弊社千葉製油所でも圧力計や温度計、流量計など数多くの計量器を使用しております。これらの計量器の管理を充実させることにより、計量・計測・制御の精度維持、安定化が可能となり、製油所の安全・安定運転だけでなく、省エネルギー活動に貢献できています。弊社ではポスターや標語の募集を通して計量管理の啓蒙を行なってきました。数多くの表彰を頂き、啓蒙活動として充分効果を発揮できています。これからも益々計量に対する意識の啓蒙に努め、計量管理技術等の資質の向上を図っていきたいと思いますので、今後も御指導御鞭撻の程をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、千葉県計量協議会及び会員の皆様方のますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。

－4. 歴代会長事業所からの寄稿－

20年（1995年～2014年）を振り返って

第23代会長事業所
住友化学(株) 千葉工場
平野 茂徳



この20年間の日本経済を振り返ってみますと、90年代初めのバブル経済崩壊後の平成不況は、1995年頃から一旦景気回復基調となりましたが、1997年に財政再建政策や、大手金融機関の破綻などにより再び不況に陥りました。

その後、量的金融緩和政策やIT需要に支えられ2000年には景気回復基調となり、いざなぎ景気と呼ばれる戦後最長の景気回復期間が続きましたがその成長率は極めて低く、2007年にアメリカで発生したサブプライムローン問題をきっかけとした世界同時不況や2008年のリーマンショックによる世界経済の冷え込みなどにより現在でも本格的な景気回復には至っておりません。

一方、1994年に施行されました改正計量法では、国際的な整合性、技術革新への対応などを目的とし、SI単位系への全面移行、トレーサビリティ制度の新設などが盛り込まれており新計量法への速やかな適合に努めてまいりました。

このような厳しい経済状況の中、社会の安全、安心に関する意識の高まりもあり、会社の業績にも影響を与える適正な計量管理の重要性がますます求められており、当社におきましても、急速な計測・計量技術の革新に適應した計量管理技術の向上などに努めてまいりました。

また、計量技術の進歩により計量精度が向上したことを受け、量目公差の適正化にも取り組み、成果をあげております。

また、いわゆる団塊の世代の退職にともなう技術伝承も大きな課題であり、計量管理に関わる関係者への計量管理に関する講習やワーキンググループでのOJT、マニュアルの整備などを実施し、技術の伝承に努めてきました。

計量管理技術の向上や技術伝承は、1社1工場では推進しきれるものではなく、今後、本協議会の果たす役割はますます大きくなっていくと思っておりますので、会員各社の皆様のご支援をいただき、新しい計量管理技術などの情報発信や会員相互のコミュニケーションなど活発な活動を期待しております。

－4. 歴代会長事業所からの寄稿－

千葉県計量管理協議会 創立50周年を迎えて

第24代会長事業所

JFEスチール(株) 常務執行役員

東日本製鉄所千葉地区副所長 小川 満



この度、千葉県計量管理協議会が創立50周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。昭和40年3月9日に当協議会の設立総会が開催されましたが、千葉県に京葉工業地帯の一角として大企業が続々と進出した時代に主要47社が集結し当協議会を設立されたことは、当時設立に尽力された方々に敬意を表します。

弊社は、千葉県計量管理協議会と共に歩んできたと言っても過言ではございません。設立当時の様子を紐解いてみますと、千葉製鉄所の操業度は鋭意加速され一貫生産工場の形態も整い始めた頃であり、当時の千葉県計量検定所長が弊社を中心に計量事業の波及を進めようとしていたところ、偶然にも弊社計量担当課長が旧知の仲であったことなどの縁もあり当会の設立に携わらせて頂き、当時の川崎製鉄(株)千葉製鉄所の植山義久工場長が初代会長を務めさせて頂いております。

弊社においても2003年4月1日に川鉄製鉄(株)とNKK(日本鋼管(株))の経営統合により、JFEスチール(株)が発足致しました。製鉄分野においては、原料から製品に至るまで取扱う数量は膨大なものであり、製造工程における計測、計量が生産の歩留り管理、品質管理、数量管理、原価管理の面に及ぼす影響は非常に大きく、各管理業務には質の良いデータが必要であり、質の良いデータは良質な計測技術によって得られます。科学技術が発達し自動化が進んだ現在でもこれは不変であります。また、当会設立当時も労働資源確保や労働時間短縮などの面からも国際競争力を養う立場においても計測、計量の確立によって企業の発展と利潤性の向上に全力を注がなければならないと言われておりました。現在、弊社においても急速な世代交代が進む中、人材育成に力を注ぎ、より正確な計測、計量によって高度な技術開発と高効率生産体制を目指しております。

また、この50年の間に世の中の情勢は急速に変化し、アジアを中心とした新興国の発展による国際競争力激化に伴う海外生産移転による産業空洞化が問題となった一方、近年では中国の食肉問題などを発端に製品の品質や安全性について見直されております。また、異常気象などに見られる地球温暖化問題、東日本大震災を契機に発生した電力問題もあり、弊社もさらなる品質向上やCO2削減、省エネへの取り組みを進めて参ります。

最後に千葉県計量管理協議会におかれましては、50年の素晴らしい実績を基に、今後60年、100年と時代に適した計量管理の普及により千葉県の産業振興に一層貢献されることを祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。

5. 創立 30 周年～50 周年のあゆみ

1) はじめに

昭和 40 年 3 月、京葉臨海工業地帯への企業進出が活発化し、経済の高度成長施策および技術革新の高度化にあわせて、時代の要請として計量管理の重要性が叫ばれ、行政当局の積極的な指導もあって『千葉県計量管理協議会』が誕生しました。その後、本会は効果的な計量管理を通して企業の合理化、品質の改善及び取引の適正、安全確保等に努めることを目的として、平成 26 年で 50 年の節目を迎えました。

ここに本会の過去を振り返り、これからの本会の糧とすべく、平成 6 年 11 月に発行した「計量管理協議会々報 創立 30 周年記念特集号」以降の創立 30 周年～50 周年の行事を記し、歩みの一助とします。

2) 事業概要

年度	事項	主な事業
7	5/17 第 31 次通常総会(ペリエホール) * 役員改選 第 16 代会長に新日鐵化学(株) 君津製造所長 児玉 文男氏が就任。 * 事業場 1 社を推薦し、知事表彰を受賞 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 3 名、優良計量技術者 1 名選出し、表彰	* 会報 3 回発行 No.116～118 号 * 見学会 2 回、講演会 3 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会 1 回) * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量なるほど展』共催
8	5/22 第 32 次通常総会(ちば共済会館) * 事業場 1 社を推薦し、知事表彰を受賞 * 優良事業場 2 社、優良計量技術者 4 名を選出し表彰	* 会報 3 回発行 No.119～121 号 * 見学会 2 回、講演会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会 1 回) * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催 * 共催事業として、計量士国家試験準備講習会の実施
9	5/26 第 33 次通常総会(ちば共済会館) * 役員改選 第 17 代会長に日本ペイント(株) 千葉工場長 村瀬 茂氏が就任。 * 優良事業場 2 社、優良管理功労者 3 名選出し、表彰。	* 会報 3 回発行 No.122～124 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)2 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催

年度	事項	主な事業
10	5/26 第 34 次通常総会(千葉県自治会館) * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 1 名、 優良計量技術者 3 名 選出し、表彰。	* 会報 3 回発行 No.125~127 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)2 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
11	5/26 第 35 次通常総会(千葉県自治会館) * 役員改選 第 18 代会長に極東石油工業(株)千葉製油所長 小沢 護一氏が就任。 * 事業場 1 社を推薦し、知事表彰を受賞。 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 1 名、 優良計量技術者 2 名 選出し、表彰。	* 会報 3 回発行 No.128~130 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)2 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
12	5/24 第 36 次通常総会(ポートプラザちば) * 事業場 1 社を推薦し、大臣表彰を受賞 * 個人 1 名を推薦し、知事表彰を受賞 * 事業所 1 社を推薦し、計量協会会長賞を受賞 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 2 名 優良計量技術者 1 名 選出し、表彰。	* 会報 3 回発行 No.131~133 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)2 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
13	5/25 第 37 次通常総会(ぱ・る・るプラザ千葉) * 役員改選 第 19 代会長に三井化学(株)市原工場長 武田 靖弘氏が就任。 * 事業場 1 社を推薦し、知事表彰を受賞 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 3 名、 優良計量技術者 2 名 選出し、表彰。	* 会報 3 回発行 No.134~136 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)1 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
14	5/24 第 38 次通常総会(ポートプラザちば) * 事業場 1 社を推薦し、知事表彰を受賞 * 事業場 1 社を推薦し、計量協会会長賞を受賞 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 1 名、 優良計量技術者 1 名 選出し、表彰。	* 会報 3 回発行 No.134~136 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)2 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催

年度	事項	主な事業
15	<p>5/21 第 39 次通常総会(ポートプラザちば)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 役員改選 第 20 代会長にライオン(株)千葉工場長 金尾 裕文氏が就任。 * 事業場 1 社を推薦し、大臣表彰を受賞 * 事業場 1 社を推薦し、計量協会長賞を受賞 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 1 名、優良計量技術者 3 名 選出し、表彰。 	<ul style="list-style-type: none"> * 会報 3 回発行 No.140～142 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)2 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
16	<p>5/25 第 40 次通常総会(ポートプラザちば)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 事業場 1 社を推薦し、大臣表彰を受賞 * 事業場 1 社を推薦し、知事表彰を受賞 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 2 名、優良計量技術者 1 名 選出し、表彰。 	<ul style="list-style-type: none"> * 会報 3 回発行 No.143～145 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)1 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
17	<p>5/20 第 41 次通常総会(ポートプラザちば)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 役員改選 第 21 代会長に新日本製鐵(株)君津製鐵所設備部長 小谷 英夫氏が就任。 * 事業場 1 社を推薦し、知事表彰を受賞 * 事業場 1 社を推薦し、計量協会長賞を受賞 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 1 名、優良計量技術者 1 名 選出し、表彰。 	<ul style="list-style-type: none"> * 会報 3 回発行 No.146～148 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)1 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
18	<p>5/19 第 42 次通常総会(ポートプラザちば)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 個人 1 名を推薦し、知事表彰を受賞 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 1 名、優良計量技術者 2 名 選出し、表彰。 	<ul style="list-style-type: none"> * 会報 3 回発行 No.149～151 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)1 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
19	<p>5/18 第 43 次通常総会(ホテルプラザ菜の花)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 役員改選 第 22 代会長に出光興産(株)千葉製油所副所長 和久田 淳氏が就任。 * 事業場 1 社を推薦し、知事表彰を受賞 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 2 名選出し、表彰。 	<ul style="list-style-type: none"> * 会報 3 回発行 No.152～154 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)1 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催

年度	事項	主な事業
20	5/23 第 44 次通常総会(ホテルプラザ菜の花) * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 2 名、 優良計量技術者 1 名 選出し、表彰。	* 会報 3 回発行 No.155~157 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、講演会 1 回、発表会(見学会)1 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
21	5/21 第 45 次通常総会(オークラ千葉ホテル) * 役員改選 第 23 代会長に住友化学(株)千葉工場部長 平野 茂徳氏が就任。 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 3 名、 優良計量技術者 1 名 選出し、表彰。	* 会報 3 回発行 No.158~160 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)1 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
22	5/21 第 46 次通常総会(オークラ千葉ホテル) * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 2 名、 優良計量技術者 2 名 選出し、表彰。	* 会報 3 回発行 No.161~163 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)1 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
23	5/19 第 47 次通常総会(オークラ千葉ホテル) * 役員改選 会長にJFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉地区) 桐谷 厚志氏が就任。 * 個人 1 名、事業所 1 社を推薦し、知事表彰を受賞 * 個人 2 名を推薦し、計量協会長賞を受賞 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 3 名、 優良計量技術者 1 名 選出し、表彰。	* 会報 3 回発行 No.164~166 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)2 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
24	5/17 第 48 次通常総会(オークラ千葉ホテル) * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 2 名、 優良計量技術者 2 名 選出し、表彰。	* 会報 3 回発行 No.167~169 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)2 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催

年度	事項	主な事業
25	5/16 第 49 次通常総会(オークラ千葉ホテル) * 役員改選 会長にDIC(株)千葉工場長 吉田栄氏が就任。 * 事業場 1 社を推薦し、知事表彰を受賞 * 事業場 1 社を推薦し、計量協会会長賞を受賞 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 2 名、優良計量技術者 1 名 選出し、表彰。	* 会報 3 回発行 No.170~172 号 * 見学会 2 回、討論会(意見交換会)1 回、発表会(見学会)1 回、基礎講習会 1 回 * 50 周年記念行事実行 WG の設置 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催
26	5/22 第 50 次通常総会(オークラ千葉ホテル) * 事業場 1 社を推薦し、計量協会会長賞を受賞 * 優良事業場 2 社、計量管理功労者 2 名、優良計量技術者 1 名 選出し、表彰。 * 50 周年記念行事(記念講演、記念誌)の実施	* 会報 4 回発行(予定) No.173~176 号 * (予定) 見学会 1 回、講演会 1 回、討論会(意見交換会)1 回、基礎講習会 1 回 * ポスター、標語の募集、印刷、配布 * 『計量展』の開催

3) 見学会開催一覧表

年度	実施月日	参加人員	見学先	摘要
7	9/20	51	東京電力 富津火力発電所 TEPCO 新エネルギーパーク (株)フジクラ 富津工場	
	2/21~22	34	桜エンドレス(株) 山梨オペレーションセンター (株)長野計器製作所 上田計測機器工場	
8	9/26	45	千葉県水道局 福増浄水場 電気化学工業(株) 千葉工場	
	2/19~20	35	電気化学計器(株) 東京工場 サントリー(株) 山梨ワイナリー	
9	9/18	49	雪印乳業(株) 野田工場	
	2/25~26	29	北東衡機株式会社 本社工場 アサヒビール株式会社 福島工場	
10	9/24	33	キッコーマン(株) 野田工場	
	2/24~25	26	ポーラ化成工業(株) 袋井工場 サッポロビール(株) 静岡工場	
11	9/22	38	かずさDNA 研究所 & かずさアカデミアセンター 新日本製鐵(株) 君津製鐵所	
	2/24~25	24	(株)東芝 那須工場 (株)トキメック 矢板工場	
12	9/14	34	国立歴史民俗博物館 三菱製鋼(株) 千葉製作所	
	2/22~23	28	富士写真フィルム(株) 足柄工場 ライオン(株) 小田原工場	
13	9/14	33	千葉共同サイロ(株) 千葉製粉(株)	
	2/21~22	21	松本市はかり資料館 東洋計器(株) 本社松本工場	
14	9/13	36	千葉県立 現代産業科学館 日新製鋼(株)市川製造所	
	2/20~21	26	NASDA筑波宇宙センター 日立那珂エレクトロニクス(株)	
15	9/11	41	ヤマサ醤油(株) 米屋(株) 第二工場	
	2/18~19	29	サッポロビール(株)千葉工場 (株)明電舎 沼津事業所	

年度	実施月日	参加人員	見学先	摘要
16	9/15	32	千葉市 新港クリーン・エネルギーセンター (株)J-オイルミルズ 千葉工場	
	2/16~17	26	ANA機体メンテナンスセンター (株)本山製作所 大衡工場	
17	9/14	38	千葉県立大利根博物館 ヒゲタ醤油(株) 銚子工場	
	2/15~16	23	国交省関東地方整備局 京浜港湾事務所 東京電力(株) 横須賀火力発電所 雪印乳業(株) 厚木マーガリン工場 (株)山武 湘南工場	
18	9/14	39	独立行政法人 製品評価技術機構(NITE) 三井造船(株) 千葉事業所	
	2/21~22	19	小江戸栃木蔵の街 日産自動車(株) 栃木工場 TEPCO 鬼怒川ランド「水と電気の科学館」 日光湯葉製造(株) 日光工場 トヨタホーム(株) 栃木事業所	
19	9/27	30	市原エコセメント(株) チッソ石油化学(株) 五井製造所	
	2/13~14	19	山梨県立リニア見学センター (株)東日製作所 本坊酒造(株) キューピー(株) 富士吉田工場 八王子道路管制センター	
20	9/18	39	産業技術総合研究所(産総研) サイエンス・スクエアつくば アサヒビール(株) 筑波工場	
	2/18~19	21	ライオン(株) 小田原工場 (株)虎屋 御殿場工場 大塚製薬(株) 袋井工場 森永製菓(株) 三島工場	
21	9/29	33	三井化学(株) 技術研修センター シャープハイテクノロジーホール幕張	
	2/17~18	24	資生堂企業資料館&アートハウス 浜岡原子力館 富士通(株) 沼津工場	

年度	実施月日	参加人員	見学先	摘要
22	9/16	30	国立環境研究所 産業技術総合研究所	
	2/16～17	20	大谷石資料館 (株)クボタ 宇都宮工場 (株)日立ハイテクコントロールシステムズ	
23	10/6	30	(株)フジクラ 佐倉事業所 (株)飯沼本家「甲子正宗」酒造 印旛沼	
	2/22～23	23	造幣局 東京支局 (株)山武 藤沢テクノセンター (株)ヤクルト 富士裾野工場 キリンディスティラリー(株)	
24	9/27	36	JFE スチール(株)東日本製鉄所 日本航空(株) 機体整備工場	
	2/20～21	21	象牙彫刻美術館 横河電機(株) 甲府事業所・テクニカルセンター モンデ酒造(株) (株)キッツ 長坂工場 サントリー酒類(株)白州蒸留所	
25	9/19	33	(株)荏原製作所 富津工場 日産自動車(株) 横浜工場	
	2/19～20	26	予科練平和記念館 新光電子(株) つくば事業所 NPO3.11 被災者を支援するいわき連絡協議会(みんなふく)	
26	9/18	29	住友化学(株) 千葉工場 第一高周波工業(株) 千葉工場	

4) 講演会および技術研修会開催一覧表

年度	実施 月日	参加 人員	会 場	講 師 名	内 容
7	11/7	52	千葉県中小企業 指導情報センター	通商産業省計量行政室 計量国際協力専門職 山本 耕治氏	計量標準供給制度の 概要について
				通商産業省計量行政室 計量単位係長 汗部 哲夫氏	国際単位(SI)の移行 について
	11/7	43	千葉県中小企業 指導情報センター	ザルトリウス(株) 計量機器営業部 フィールドサービス課 SASチーフ 深澤 秀寿氏	技術研修会 精密天びんの保守管 理とトレーサビリティ
	2/22	34	(株)長野計器製作 所 上田計測器工場	(株)長野計器製作所 上田計測器工場 技術部主任 浅川 供雄氏	圧力計におけるSI単 位移行の現状とその 動向
8	11/7	70	千葉県中小企業 指導情報センター	(株)日本計量新報社 横田 俊英氏	計量管理の将来像
				(株)チノー 温度標準需要開発チー ム 清水 彰氏	技術研修会 温度計の校正と保守 管理について
	2/19		電気化学計器(株)	電気化学計器(株) 取締役社長 山下 直氏	オンライン分析計の 現状と最近のトピック ス
20	3/12	47	千葉市 暮らしのプラザ	パナソニック(株)生産革新 本部 池田 勝氏	計量業界における JCSS の貢献及び適 正計量管理事業所の 活用について
26	10/17	69	オークラ千葉ホテ ル	(独)産業技術総合研究 所 西川 一夫氏	時間、長さの定義の 移り変わりと質量の 定義の変更について
				(独)宇宙航空研究機構 (JAXA) 久野 晃太郎氏	日本版 GPS 衛星みち びきと測位精度向上 がもたらす未来

5) 討論会(意見交換会)開催一覧表

年度	実施 月日	参加 人員	場 所	アドバイザー	内 容
7	1/24	42	自治会館	無	SI単位への移行について
8	1/29	32	自治会館	(株)東芝、(株)長野計器製作所、山武ハネウエル(株)、横河電機(株)	①SI単位への移行について ②老朽設備の保守・更新について
9	1/27	33	自治会館	無	老朽設備の保守・更新
10	1/28	21	プラザ菜の花	横河電機(株)、横河エンジニアリングサービス(株) 山武産業システム(株)	計装設備の保守更新について システムのライフサイクルについて
11	1/27	21	プラザ菜の花	無	計量管理(計装保守)業務の効率化と教育・育成について
12	1/24	18	プラザ菜の花	無	計量管理業務の効率化
13	1/25	12	プラザ菜の花	無	計量・計装設備の効率的な管理・保全方法
14	1/24	18	プラザ菜の花	無	計量機器・計装設備の保全費の低減
15	1/23	12	プラザ菜の花	無	コスト削減下における計量・計装業務の効率化
16	12/2	11	プラザ菜の花	無	計量・計装技術の伝承について
17	12/1	14	プラザ菜の花	無	計量機器・装置の劣化診断および予寿命の考え方
18	11/30	12	プラザ菜の花	無	計量機器・装置でのトラブル事例や改善事例の紹介
				講師 計量検定所 課長 塚本氏	計量制度検討小委員会報告案の主な内容
19	11/29	20	プラザ菜の花	情報交換 講師 (株)山武 殿	技術伝承の考え方と実施方法の事例紹介
20	11/27	19	プラザ菜の花	メーカー講演(横河電機殿) テーマ「生産制御システムの 避雷対策」	計量機器・装置でのトラブル事例や改善事例の紹介 サブテーマ「計量・計装設備への落雷でのトラブル防止」

年度	実施 月日	参加 人員	場 所	アドバイザー	内 容
21	11/26	27	プラザ菜の花	メーカー講演(横河電機殿) テーマ「設備管理システム導入事例(劣化診断の一方法として)」	計量機器・装置の劣化診断の一方法として設備管理システムの活用
22	10/28	23	プラザ菜の花	講演(日本プラントメンテナンス協会 四道 広氏) テーマ「経営に寄与する保全活動」	保全費削減の取組みについて
23	11/25	24	プラザ菜の花	メーカー講演((株)山武殿) テーマ「引継ぎを起点とした技術情報の蓄積と活用」 「テキストデータ活用の新手法と事例の紹介」	技術伝承の考え方と実施方法について
24	10/25	23	プラザ菜の花	講演(大和製衡(株)) テーマ「計量の技術伝承について」「クリーンパッカー308WCCのご紹介」	計量・計装技術の伝承について
25	11/7	23	プラザ菜の花	講演((株)チノー) テーマ「温度校正の必要性」	計量機器・装置でのトラブル事例や改善事例の紹介
26	2/12 予定	—	—	—	—

6) 計量管理に関する発表会開催一覧表(見学会併行)

年度	実施 月日	参加 人員	会 場	発 表 者	内 容
7	9/20	51	(株)フジクラ 富津工場	(株)フジクラ 富津工場 石野氏	「当社の計量管理の概要 について」
				三井・デュポンホリックケミカル (株)千葉工場 堀氏	「当社の計量管理の概要 について」
8	9/26	45	電気化学工業(株) 千葉工場	電気化学工業(株) 千葉工場 近藤 幸男氏	「当社の計量管理の概要 について」
				日曹丸善ケミカル(株) 五井工場 晝間 善夫氏	「当社の計量管理の概要 について」
9	9/18	49	雪印乳業(株) 野田工場	雪印乳業(株) 野田工場 石原洋市氏	当社の計量管理の概要に ついて」
				ヤマサ醤油(株) 高橋 英勝氏	当社の計量管理の概要に ついて」
	2/26	29	北東衡機(株)	北東衡機(株) 品質管理部次長 加藤 和大氏	指定製造事業者認定につ いて
10	9/24	33	キッコーマン(株) 野田工場	キッコーマン(株) 野田工場	計量管理の概要について
				コスモ石油(株) 千葉製油所	計量管理の概要について
	2/24	26	焼津グランドホテル	千葉県計量検定所 指導課長 岡和雄氏	地方分権と計量法改正に ついて
11	9/22	45	新日本製鐵(株) 君津製鐵所	新日本製鐵所(株) 君津製鐵鉄所 ジェイエスアール(株) 千葉工場	計量管理の概要について
	2/25	24	(株)東芝 那須工場	(株)東芝 那須工場 品質管理課 藤本氏	(株)東芝 那須工場におけ るISO9000 への取り組み 及び計量管理について
		千葉県計量検定所 指導課 中嶋氏		地方分権に伴う計量法改 正について	

年度	実施 月日	参加 人員	会 場	発 表 者	内 容
12	9/14	34	三菱製鋼(株) 辰巳研修所	三菱製鋼(株) 千葉製作所 日本電気(株) 我孫子事業場	計量管理の概要について
	2/22	28	富士写真フィルム (株)足柄工場	生産技術部 保全グループ MW 室長 高橋 正男氏	富士写真フィルム(株)足柄 工場 計量管理の概要に ついて
13	9/14	41	千葉港港運会館	千葉共同サイロ(株) 常務取締役 安井 昭夫氏	当社の計量管理概要につ いて
				旭テクノグラス(株) 中山工場 工務課 山根正也氏	当社の計量管理の概要に ついて
14	9/13	32	日新製鋼(株) 市川製造所	日新製鋼(株) 市川製造所	当社の計量管理の概要に ついて
				昭和キャボット(株) 千葉工場	当社の計量管理の概要に ついて
	2/21	26	日立那珂エレクトロ ニクス(株)	日立那珂エレクトロニ クス(株) 取締役 末廣氏	日立那珂エレクトロニクス (株)における計量管理の 概要について
15	9/11	41	米屋(株) 第二工場	米屋(株)第二工場	当社の計量管理の概要に ついて
				(株)日立ディスプレイ ズ	当社の計量管理の概要に ついて
	2/19	29	(株)明電舎 沼津事業所	(株)明電舎	(株)明電舎における計量 管理について
16	9/15	34	(株)J-オイルミル 千葉工場	(株)J-オイルミルズ 千葉工場	当社の計量管理の概要に ついて
				日新総合建材(株) 八千代工場	当社の計量管理の概要に ついて
17	9/14	35	ヒゲタ醤油(株)	ヒゲタ醤油(株)	計量管理の概要について
				日立化成工業(株) 五井事業所	計量管理の概要について

年度	実施 月日	参加 人員	会 場	発 表 者	内 容
18	9/14	39	三井造船(株) 千葉事業所	三井造船(株) 千葉事業所	当社の計量管理の概要について
				サミット製油(株)	当社の計量管理の概要について
19	9/27	30	チッソ石油化(株) 五井製造所	チッソ石油化学(株) 五井製造所 保全部 真間氏	計量管理の概要について
				鈴木金属工業(株)	計量管理の概要について
20	9/18	39	土浦市亀城プラザ	極東石油工業(株) 千葉製油所 計装グループ 真野氏	当社の計量管理の概要について
				DIC(株) 千葉工場 原動部 旭 氏	当社の計量管理の概要について
21	9/29	33	三井化学(株) 技術研修センター	東京ガス(株)袖ヶ浦工場 操業部 計装システムグループ 田所氏	計量管理の概要について
				日本燐酸(株) 工務課 関谷氏	計量管理の概要について
22	9/16	30	産業技術総合研究所	三井・デュポンポリケミカル(株) 千葉工場施設課 計装係 齊藤氏	計量管理の概要について
				昭和産業(株) 船橋工場 生産課保 全ユニット 高橋氏	計量管理の概要について

年度	実施 月日	参加 人員	会 場	発 表 者	内 容
23	10/6	30	(株)フジクラ 佐倉事業所	丸善石油化学(株) 千葉工場 設備管理部計電課 山口氏	計量管理の概要について
				(株)フジクラ 佐倉事業所 施設課 中林氏	計量管理の概要について
	2/22	23	(株)山武 藤沢テクノセンター	(株)山武 藤沢テクノセンター 山口氏	計量管理の紹介
24	9/27	36	JFE スチール(株) 東日本製鉄所	三井化学(株) 市原工場 制御グループ 鈴木 康弘氏	計量管理の概要について
				日清製粉(株) 千葉工場 営繕部署 宮下 博之氏	計量管理の概要について
	2/20	21	横河電機(株) 甲府事業所・テクニカル センター	品質保証本部 計測標準部 標準管理課 大村氏	計測標準部 標準管理課 について
25	9/19	33	(株)荏原製作所 富津工場	KHネオケム(株) 千葉工場 工務課 小出 勉氏	計量管理の概要について
				古河電気工業(株) 千葉事業所 サービス技術部 藤沢 大氏 安 偉氏	計量管理の概要について
26	9/18	29	住友化学(株) 千葉工場	キッコーマン食品(株) 野田工場 上原 健一氏	計量管理の概要について
				住友化学(株) 千葉工場 小西 啓氏	計量管理の概要について

7) 計量管理基礎講習会開催一覧表

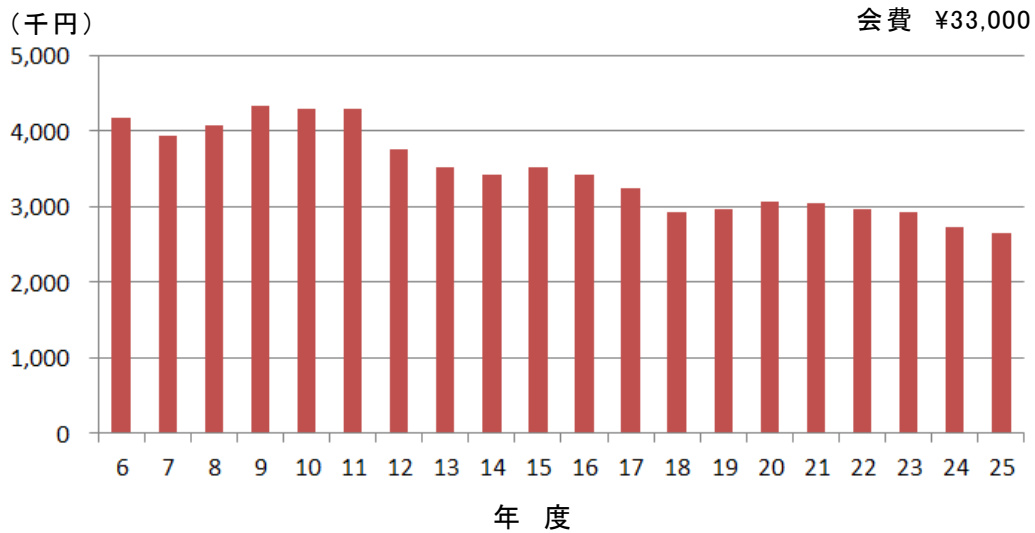
年度	実施 月日	参加 人員	会場	演題	講師
9	11/19	42	千葉県中小企業 指導情報センター	計量法の要点と計量管理に ついて	千葉県計量検定所 企画啓発課 関 幸男氏
				ISO9000 シリーズの国際認 証制度と計量管理の進め方	(株)フジクラ 佐倉工場施設課 柏木 貢氏
10	11/18	49	千葉県中小企業 指導情報センター	計量法の要点と計量管理に ついて	千葉県計量検定所 企画啓発課 関 幸男氏
				ISO9000 認証取得の実務 について	(財)日本品質保証機 構 清水 英範氏
				ISO9000 シリーズと計量管 理	川崎製鉄(株)千葉 製鉄所 牧 勇之輔氏
11	11/17	103	千葉県中小企業 指導情報センター	計量器の検査・校正に必要 な計量法トレーサビリティ制 度について	千葉県計量検定所 企画啓発課 関 幸男氏
				ISO9000 シリーズと計量管 理	(株)プレシジョンク ロダ 技術管理課 渡邊 英孝氏
12	11/14	85	千葉県中小企業 指導情報センター	ISO9000 シリーズ等の国際 認証制度と計量管理の進め 方	千葉県計量士会 大手 和夫氏
				食品工業における計量管理 手法について	キッコーマン(株) 設備技術部 鈴木 利男氏
13	11/14	162	千葉市総合保険 医療センター	計量(計測)のトレーサビリ ティと不確かさについて 計量(計測)の不確かさ	独立行政法人 産業技術総合研 究所 田中 健一氏
14	11/14	73	千葉市 「暮らしのプラザ」	質量測定における不確かさ の評価事例について	(財)日本品質保証機 構 内川 恵三郎氏
15	11/12	71	千葉市 「暮らしのプラザ」	計測機器の検査と校正につ いて	三興コントロール(株) 校正技術部長 田村 純氏

年度	実施 月日	参加 人員	会場	演題	講師
16	11/17	37	千葉市 「暮らしのプラザ」	圧力の計測とトレーサビリティ	長野計器(株) 品質保証部次長 阿部 正一氏
17	11/16	40	千葉市 「暮らしのプラザ」	計量法技術基準の JIS 化 と改正省令の概要	産業技術総合研究所 計量標準計画室長野 智博氏 法定計量技術科 神長 亘氏 三倉 伸介氏 堀越 努氏
18	11/15	37	千葉市 「暮らしのプラザ」	照度計の検定および電力 量計について	日本電気計器検定所 検定部 阿部 季芳氏 標準部 八木下裕久氏
19	11/13	89	千葉市 「暮らしのプラザ」	正確な質量の計量と天び ん・校正用分銅の管理	メトラー・トレド(株) 科学機器事業部 渡部 新一氏 関口 正男氏
20	11/14	80	千葉市 「暮らしのプラザ」	新しい計量行政の方向に ついて 計量行政審議会の答申	前 (社)日本計量振興 協会 常務理事 印南 武雄氏
21	11/19	55	千葉市 「暮らしのプラザ」	計量管理の質の強化とグ ローバル化 (ISO17025・ ISO10012)	(株)日立製作所通信 ネットワーク事業部 (社)日本計量振興協会 常任理事 三橋 克巳氏
22	11/18	49	千葉市 「暮らしのプラザ」	航空機騒音に関する最近 の話題	(財)成田国際空港振興 協会 環境部長 篠原 直明氏

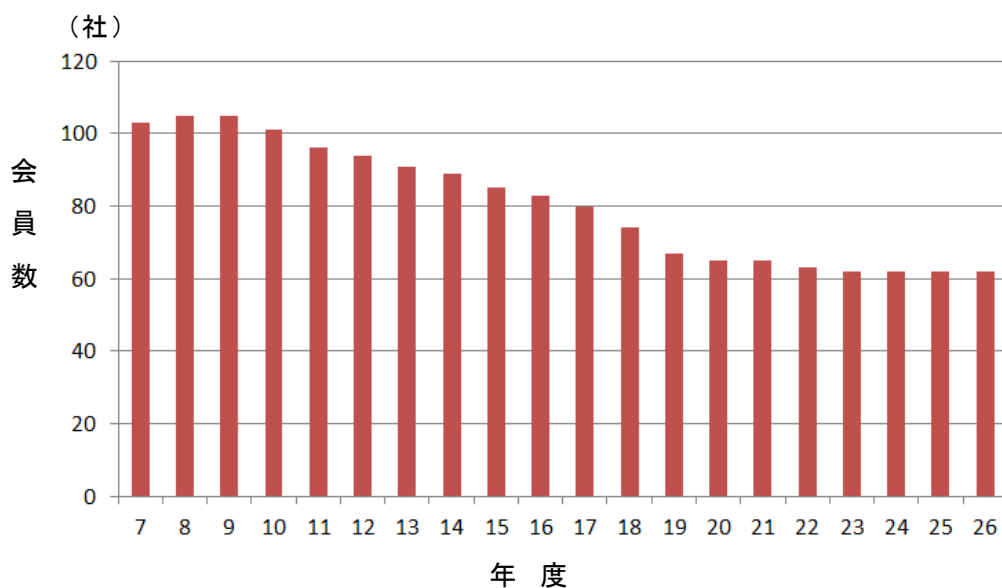
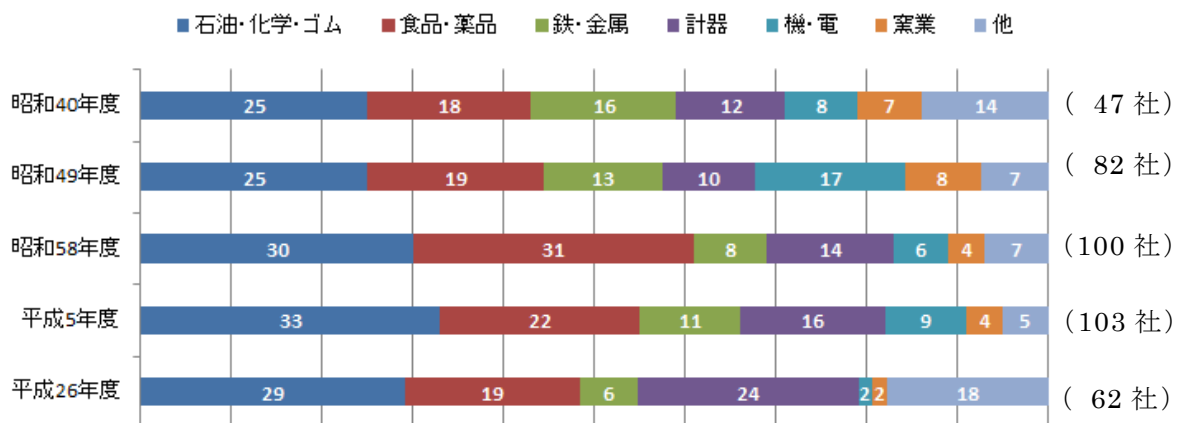
年度	実施 月日	参加 人員	会場	演題	講師
23	11/9	61	千葉市 「暮らしのプラザ」	放射線・放射能の測定について	(財)日本分析センター IT室調査役 太田 裕二氏
24	11/14	49	千葉市 「暮らしのプラザ」	千葉県水道局の水質管理 といくつかの出来事	千葉県水道局水質 センター 所長 西川 順二氏
25	11/14	44	千葉市 「暮らしのプラザ」	特定計量器の技術基準と 電磁環境試験	(独)産業技術総合 研究所 校正試験技術室 室長 三倉伸介氏
26	11/21 予定	—	千葉市 「暮らしのプラザ」	NMIJの係る法定計量の紹 介	(独)産業技術総合 研究所 型式承認技術室長 上田 雅司氏

8) 主なる記録

(1) 予算規模



(2) 会員数および会員構成の推移(百分率表示)



(3) 優良事業場及び個人表彰一覧表

年度	大臣表彰	知事表彰	計量協会長賞
7		出光石油化学(株)千葉工場	
8		富士石油(株)袖ヶ浦製油所	
11		新日鐵化学(株)君津製造所	
12	新日本製鐵(株)君津製鐵所	藤江 宏氏(極東石油工業)	ライオン(株)千葉工場
13		ライオン(株)千葉工場	
14		千葉共同サイロ(株)	日新製鋼(株)市川製造所
15	日本製粉(株)千葉工場		三菱製鋼(株)千葉製作所
16	住友化学(株)千葉工場	三菱製鋼(株)千葉製作所	
17		ヤマサ醤油(株)	(株)J-オイルミルズ 千葉工場
18		竹中 修氏(住友化学)	
19		ヒゲタ醤油(株)	
23		三井造船(株)千葉事業所 渡辺 久夫氏(住友化学)	渡辺 久夫氏(住友化学) 上田明久氏(三井化学茂原)
25		鈴木金属工業(株)	三井・デュポンポリケミカル(株) 千葉工場
26			日本燐酸(株)

年度	計量管理優良事業場	計量管理功労者	優良計量技術者
7	電気化学工業(株)千葉工場 日曹丸善ケミカル(株)五井工場	(日本合成ゴム) 早見 祐二氏 (住友化学工業) 武藤 賢次氏 越智 彰氏	(古河電気工業) 山口 清氏
8	ヤマサ醤油(株) 雪印乳業(株)野田工場		(日本製粉) 岩本 辰満氏 (川崎製鉄) 河野 眞禎氏 (川鉄アドバンテック) 木村 重雄氏 (千葉共同サイロ) 斉藤 尚氏
9	コスモ石油(株)千葉製油所 キッコーマン(株)野田工場	(住友化学工業) 鈴木 晴夫氏 (日本製粉) 大塚 征弘氏 (千葉共同サイロ) 呉羽 忠彦氏	
10	新日本製鐵(株)君津製鐵所 ジェイエスアール(株)千葉工場	(日本製粉) 崎山 芳美氏	(日本製粉) 川崎 賢一氏 (住友化学工業) 青野 幸男氏 (フジクラ富津) 渡辺 淳氏
11	三菱製鋼(株)千葉製作所 日本電気(株)我孫子事業場	(新日本製鐵) 石川 三郎氏	(フジクラ) 中林 正氏 (日立製作所ディスプレイ) 行川 元宏氏
12	千葉共同サイロ(株) 旭テクノグラス(株)中山工場	(キッコーマン) 鈴木 利男氏 (東洋ガラス) 小池 照男氏	(日本製粉) 後藤 義雄氏
13	日新製鋼(株)市川製造所 昭和キャボット(株)千葉工場	(日本ペイント) 菰田 文輝氏 (日立製作所ディスプレイ) 高倉 哲氏 (新日本製鐵) 大谷 高史氏	(川崎製鉄) 青柳 英夫氏 (三菱製鋼) 藤原 盛一氏
14	(株)日立ディスプレイズ 米屋(株)第二工場	(古河電気工業) 松井 幸雄氏	(川鉄アドバンテック) 鶴岡 憲治氏
15	味の素製油(株)千葉工場 日新総合建材(株)八千代工場	(東芝電機サービス) 藤平 晃氏	(千葉共同サイロ) 山田 和夫氏 (鈴木金属工業) 柴田 伸哉氏 (日本製粉) 浜 勝氏

年度	計量管理優良事業場	計量管理功労者	優良計量技術者
16	日立化成工業(株)五井事業所 ヒゲタ醤油(株)	(住友化学) 日野 伸二氏 (千葉製粉) 高橋 光浩氏	(住友化学) 鎌田 治彦氏
17	三井造船(株)千葉事業所 サミット製油(株)	(住友化学) 仲村 重雄氏	(住友化学) 坂本 長務氏
18	チッソ石油化学(株)五井製造所 鈴木金属工業(株)	(ライオン) 林 章氏	(大日本インキ化学工業) 川原 和宣氏 (大日本インキ化学工業) 浅野 裕二氏
19	極東石油工業(株)千葉製油所 大日本インキ化学工業(株)千葉工場	(住友化学) 上原 悦幸氏 (JFE スチール) 齋藤 隆雄氏	
20	東京ガス(株)袖ヶ浦工場 日本燐酸(株)	(新日本製鐵) 青木 正人氏 (住友化学) 中川 則一氏	(住友化学) 今野 勝弘氏
21	三井・デュポンポリケミカル(株) 千葉工場 昭和産業(株)船橋工場	(ロイヤルコントロールズ) 石田 武司氏 (三井・デュポンポリケミカル) 斉藤 要氏 (J-オイルミルズ) 坂口 求氏	(JSR) 大倉 清三氏
22	丸善石油化学(株)千葉工場 (株)フジクラ 佐倉事業所	(古河電気工業) 安 偉氏 (ライオン) 仲谷 浩二氏	(チッソ石油化学) 山口 幸男氏 (恵藤計器) 吉野 聡氏
23	三井化学(株)市原工場 日清製粉(株)千葉工場	(キッコーマン) 田中 茂氏 (古河電気工業) 和田 敦比古氏 (住友化学) 渡辺 久夫氏	(千葉共同サイロ) 日暮 浩美氏
24	古河電気工業(株)千葉事業所 KHネオケム(株)千葉工場	(ヤマサ醤油) 石毛 英幸氏 (三井化学) 上田 明久氏	(住友化学) 黒須 洋一氏 (電気化学工業) 富田 邦彦氏
25	キッコーマン食品(株)野田工場 住友化学(株)千葉工場	(古河電気工業) 佐々木 智弘氏 (JFEスチール) 戸村 寧男氏	(三井化学) 市川 郁則氏

(4) 標語入選作品

年度	標語入選作品
平成 14 年	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい管理で正しく計量 信頼寄せるその一日盛り ・品質も環境も 基礎を支える正しい計量 ・精度が答える正しい計量 基礎に基づく確かな管理 ・しっかり管理 きちんと計量 正しいチェックで良い製品
平成 15 年	<ul style="list-style-type: none"> ・品質と文化を支える計量管理 正しく使って豊かな未来 ・正しい操作で正しい計量 皆で進める計量管理 ・正しい計量 未来に継承 確かな品質世界に提供 ・正しく計って しっかり表示 信頼される確かな製品
平成 16 年	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな狂いが大きな損失 正しい管理で大きな信頼 ・現場の変化を見逃すな 確かな技術で計量管理 ・適正ですか計量器、正しいですか計量方法 正確な測定値で品質アップとコストダウン ・正しく計量しっかり管理 守って築こう大きな信頼
平成 17 年	<ul style="list-style-type: none"> ・知恵と技術と経験を 活かして築く 計量管理 ・正しい計量我らの使命 消費者本位の計量管理 ・品質の信頼築く計量器 忘れてならないトレーサビリティ ・あなたの計量正しいですか 私の測定正しいですか みんなで取り組む 計量管理
平成 18 年	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく計って厳しく管理 社会が求める計量管理 ・小さな目盛に大きな信頼 確かな計量 確かな管理 ・知恵と技術で計量管理 確かな品質未来へ継承 ・心を込めた計量管理 目盛りに託す精度と信頼
平成 19 年	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい計量 確かな管理 生まれる信頼 大きな安心 ・経験と知見を活かす標準化 未来に繋げる計量管理 ・確かな品質 正しい計量 世界にはばたく大きな信頼 ・安全、環境、品質の基礎を築く計量管理 正確計量で信頼確保
平成 20 年	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな生活築く信頼 計量管理は社会の基本 ・計量は、守る姿勢とたゆまぬ努力 信頼つなぐ適正計量 ・真摯に取り組み社会に貢献 確かな計量 繋がる信頼 ・全てを決めるその計量、全てを変えるその管理 手本を示そう あなたが主役

年度	標語入選作品
平成 21 年	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼は基準に基づく確かな計量 手本を示そうあなたが主役 ・不正を許さぬ社会の目 信頼つなぐ適正計量 ・大きな安心 確かな品質 プロの技能と正しい計量 ・チョット待て正しいですかその値 見返す余裕で勝ちとる信頼
平成 22 年	<ul style="list-style-type: none"> ・計量は守る姿勢とたゆまぬ努力 しっかり築こう大きな信頼 ・事実の把握が技術の原点 基礎を支える正しい計量 ・正しい計量 経費の削減 エコにつながる計量管理 ・計量管理はあなたが主役 適正管理で深まる信頼
平成 23 年	<ul style="list-style-type: none"> ・信用は計るあなたの目と心 正しい計量厳しく管理 ・正しい計量・正しい管理 そこから生まれる「大きな信頼」 ・計量管理は技術の原点 適正管理で築く信頼 ・はかるその手で生み出す信頼 つぎへ手渡す確かな技能
平成 24 年	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな目盛に大きな信頼 社会が求める計量管理 ・慣れた作業に落とし穴 基本を忘れず適正計量 ・真摯に取り組む計量管理 確かな技術で明るい未来 ・待ったなし誤差を見つけて即是正 日々の管理で正しい計量
平成 25 年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本を守って確かな計量 果たす責任高める信頼 ・確かな計量管理で 負けるな日本の物づくり ・点検・校正たゆまぬ努力 地道な管理で適正計量 ・確かな技術で計量管理 高まる品質 深まる信頼
平成 26 年	<ul style="list-style-type: none"> ・変わる時代に変わらぬ基本 しっかり実践計量管理 ・小さな誤差で大きな損失 みんなで守ろう計量管理 ・基準を守って正しく計量 誤差を許さぬ厳しい管理 ・計量管理の両輪は日常管理と定期点検 継続していく品質管理

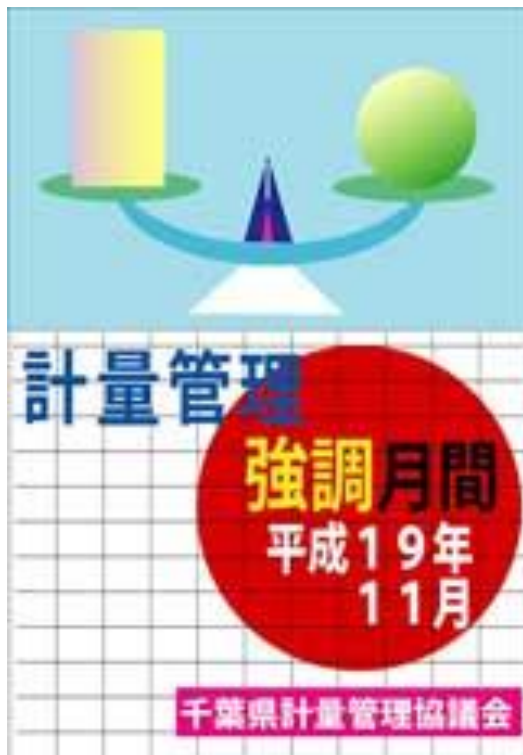
(5)ポスター入選作品(平成17年～平成26年)



平成17年



平成18年



平成19年



平成20年



平成21年



平成22年



平成23年



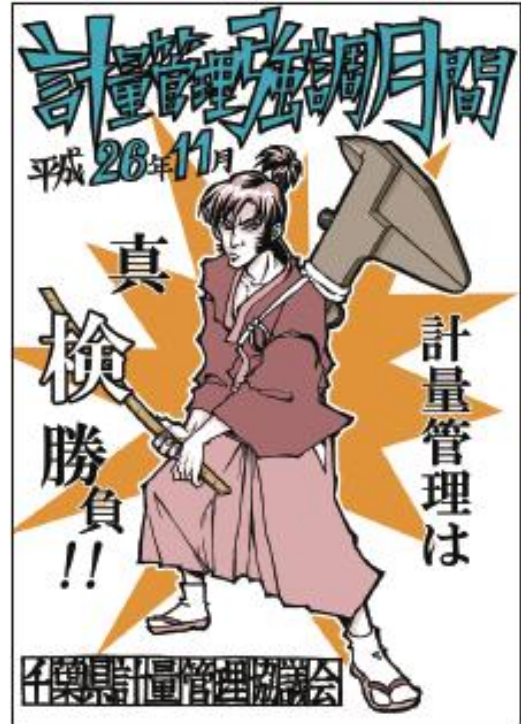
平成24年

計量管理強調月間

平成25年11月



平成25年



平成26年

(6)歴代役員事業所一覧

年度	会長	副会長	理事	監事
平成 5～6	丸善石油化学(株) 千葉工場	新日鐵化学(株) 君津製造所 日本ペイント(株) 千葉工場	キッコーマン(株)野田工場 新日本製鐵(株)君津製鐵所 電気化学工業(株)千葉工場 東京ガス(株)袖ヶ浦工場 協和油化(株)千葉工場 東洋ガラス(株)千葉工場 東洋製油(株) 千葉製粉(株) 日本電気(株)我孫子事業場 (株)東芝東関東支社	日清製粉(株) 千葉工場 ライオン(株) 千葉工場
平成 7～8	新日鐵化学(株) 君津製造所	日本ペイント(株) 千葉工場 極東石油工業(株) 千葉製油所	協和油化(株)千葉工場 新日本製鐵(株)君津製鐵所 千葉製粉(株) 東洋ガラス(株)千葉工場 東洋製油(株) 東京ガス(株)袖ヶ浦工場 (株)東芝東関東支社 日本電気(株)我孫子事業場 三井石油化学工業(株)千葉工場 山武エンジニアリング(株)千葉支店 ヤマサ醤油(株)	日清製粉(株) 千葉工場 ライオン(株) 千葉工場
平成 9～ 10	日本ペイント(株) 千葉工場	極東石油工業(株) 千葉製油所 三井石油化学工業(株) 千葉工場	協和油化(株)千葉工場 住友化学工業(株)千葉工場 新日本製鐵(株)君津製鐵所 千葉製粉(株) 東洋ガラス(株)千葉工場 東洋製油(株) 東京ガス(株)袖ヶ浦工場 東芝電機サービス(株)東関東支社 日本電気(株)我孫子事業場 三井石油化学工業(株)千葉工場 山武エンジニアリング(株)千葉支店	千葉共同サイロ(株) ライオン(株) 千葉工場
平成 11～ 12	極東石油工業(株) 千葉製油所	三井化学(株) 市原工場 ライオン(株) 千葉工場	新日本製鐵(株)君津製鐵所 住友化学工業(株)千葉工場 千葉製粉(株) 東芝電機サービス(株)東関東支店 東洋ガラス(株)千葉工場 味の素製油(株)千葉工場 日曹丸善ケミカル(株)五井工場 日本電気(株)我孫子事業場 ヤマサ醤油(株) 山武産業システム(株)千葉支店 三菱製鋼(株)千葉製作所	千葉共同サイロ(株) 東京ガス(株) 袖ヶ浦工場

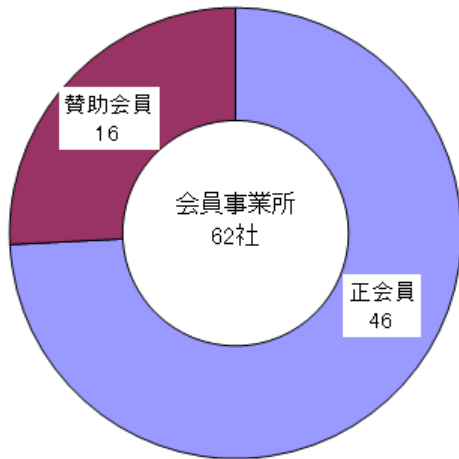
年度	会長	副会長	理事	監事
平成 13～ 14	三井化学(株) 市原工場	ライオン(株) 千葉工場 新日本製鐵(株) 君津製鉄所	旭硝子(株)千葉工場 味の素製油(株)千葉工場 サッポロビール(株)千葉工場 住友化学工業(株)千葉工場 千葉製粉(株) 東京ガス(株)袖ヶ浦工場 東芝電機サービス(株)東関東支店 日本電気(株)我孫子事業場 丸善ケミカル(株)五井工場 三菱製鋼(株)千葉製作所 山武産業システム(株)千葉支店	千葉共同サイロ(株) 出光興産(株) 千葉製油所
平成 15～ 16	ライオン(株) 千葉工場	新日本製鐵(株) 君津製鉄所 出光興産(株) 千葉製油所	味の素製油(株)千葉工場 サッポロビール(株)千葉工場 住友化学工業(株)千葉工場 千葉共同サイロ(株) 千葉製粉(株) 東京ガス(株)袖ヶ浦工場 東芝電機サービス(株)東関東支店 丸善ケミカル(株)五井工場 三井・デュポンポリケミカル(株)千葉工場 (株)山武千葉支店	旭硝子(株) 千葉工場 三菱製鋼(株) 千葉製作所
平成 17～ 18	新日本製鐵(株) 君津製鉄所	出光興産(株) 千葉製油所 (株)山武 千葉営業所	J-オイルミルズ(株)千葉工場 サッポロビール(株)千葉工場 住友化学(株)千葉工場 千葉製粉(株) (株)日立ディスプレイズ 東芝電機サービス(株)東関東支店 三興コントロール(株) 三井・デュポンポリケミカル(株)千葉工場 古河電気工業(株)千葉事業所	エスエス製薬(株)成田工場 三菱製鋼(株) 千葉製作所
平成 19～ 20	出光興産(株) 千葉製油所	住友化学(株) 千葉工場 (株)山武 千葉営業所	日本燐酸(株) 三井化学(株)茂原分工場 JFEスチール(株)東日本製鉄所 三井・デュポンポリケミカル(株)千葉工場 三興コントロール(株)	J-オイルミルズ(株)千葉工場 古河電気工業(株)千葉事業所
平成 21～ 22	住友化学(株) 千葉工場	JFEスチール(株) 東日本製鉄所 三井化学(株) 茂原分工場	出光興産(株)千葉製油所 日本サイロ(株) 電気化学工業(株)千葉工場 昭和産業(株)船橋工場 日本燐酸(株) (株)山武千葉営業所 JFE鋼板(株)千葉製造所	恵藤計器(株) チッソ石油化学(株)五井製造所

年度	会長	副会長	理事	監事
平成 23～ 24	JFEスチール(株) 東日本製鉄所	DIC(株)千葉工場 チッソ石油化学 (株)五井製造所	日本サイロ(株) 電気化学工業(株)千葉工場 (株)荏原製作所富津工場 昭和産業(株)船橋工場 旭国際テクネイオン(株)京葉事業 所 (株)山武千葉営業所、日本曹達(株) 千葉工場、住友化学 (株)千葉工場、JFE鋼板(株)東日本 製造所	恵藤計器(株) 三井造船(株) 千葉事業所
平成 25	DIC(株) 千葉工場	富士石油(株) 袖ヶ浦製油所 (株)荏原製作所 富津工場	日本サイロ(株) アズビル(株)千葉営業所 極東石油工業(同)千葉製油所 日清製粉(株)千葉工場 旭国際テクネイオン(株)京葉事業 所 日本曹達(株)千葉工場 KHネオケム(株)千葉工場 東京ガス(株)袖ヶ浦工場 JFEアドバンテック(株)東日本事業 所	恵藤計器(株) 三井造船(株) 千葉事業所
平成 26	DIC(株) 千葉工場	富士石油(株) 袖ヶ浦製油所 (株)荏原製作所 富津工場	日本サイロ(株) アズビル(株)千葉営業所 極東石油工業(同)千葉製油所 日清製粉(株)千葉工場 旭国際テクネイオン(株)京葉事業 所 日本曹達(株)千葉工場 東京ガス(株)袖ヶ浦工場 恵藤計器(株) 三井造船(株)千葉事業所	KHネオケム (株)千葉工場 JFEアドバン テック(株) 東日本事業 所

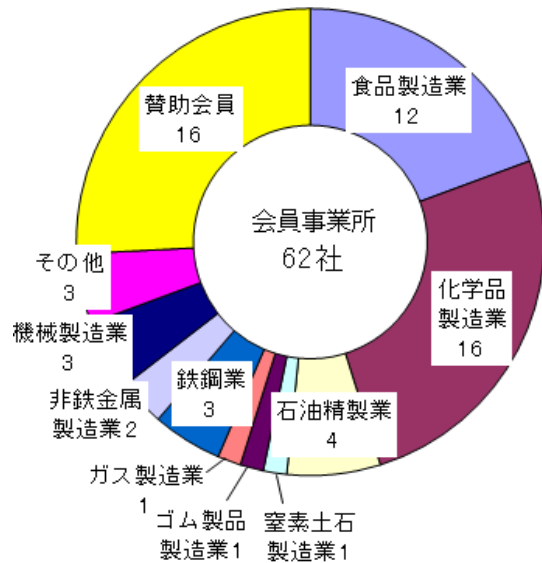
6. 平成25年度会員事業所の概要

千葉県計量管理協議会50周年記念特集号発刊にあたり、毎年実施しています計量管理実施状況調査書の一部を抜粋、集計したものを報告いたします。

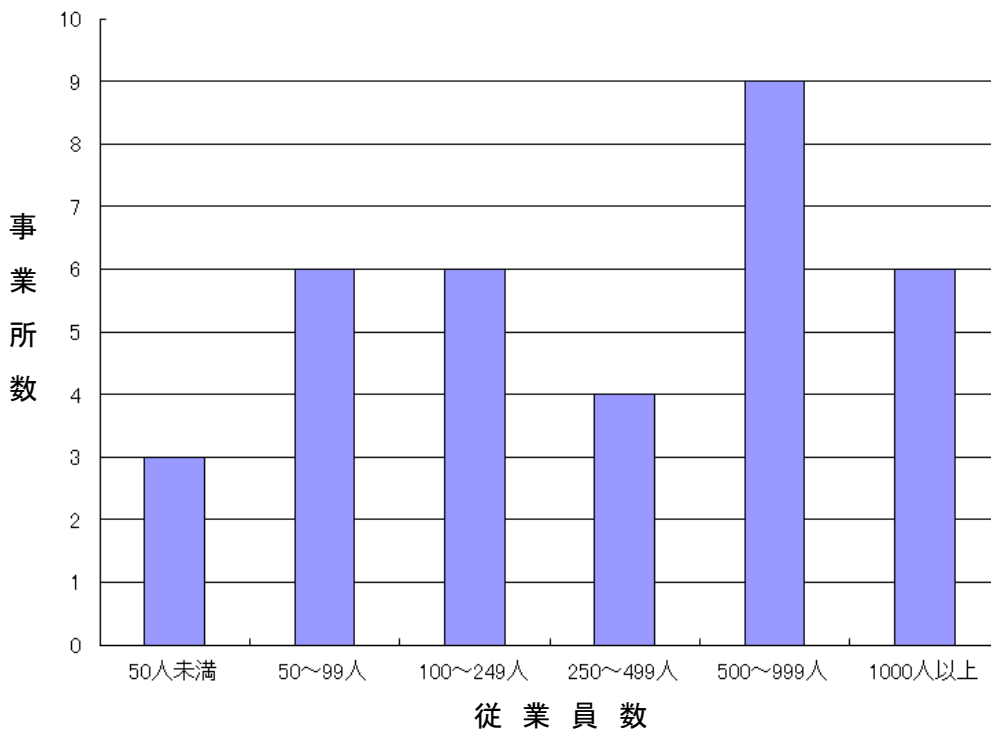
1. 会員事業所数



2. 産業別事業所数



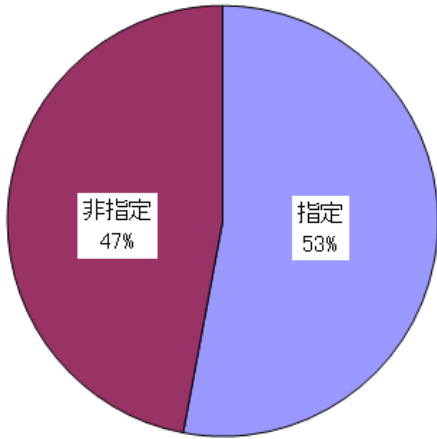
3. 正会員事業所従業員数(平成25年調査書回答 34社)



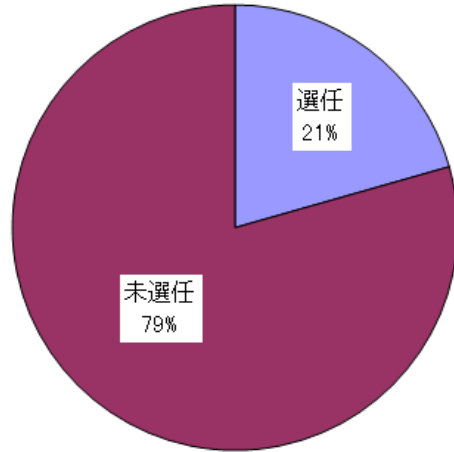
4. 正会員事業所計量士選任状況(平成25年調査書回答 34社)

1) 全体選任状況

① 一般計量士

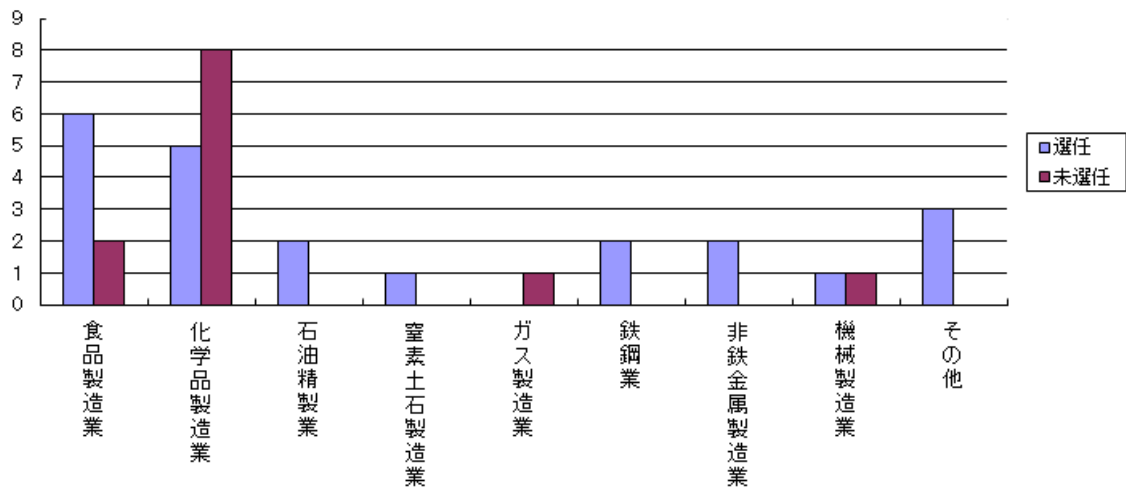


② 環境計量士

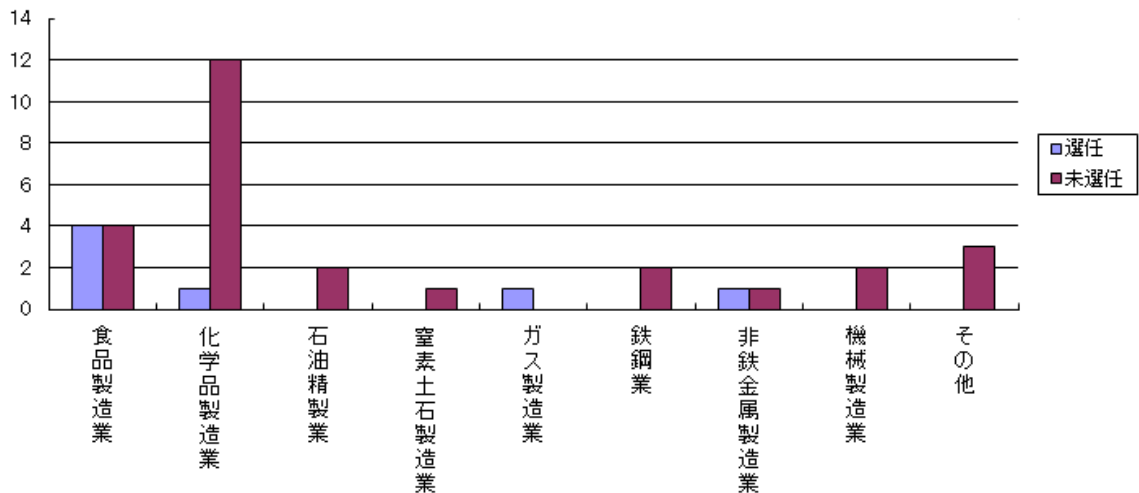


2) 業種選任状況

① 一般計量士

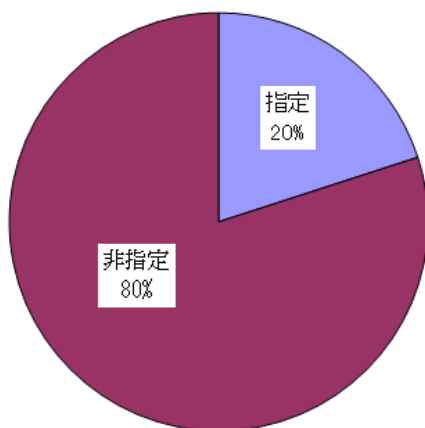


② 環境計量士

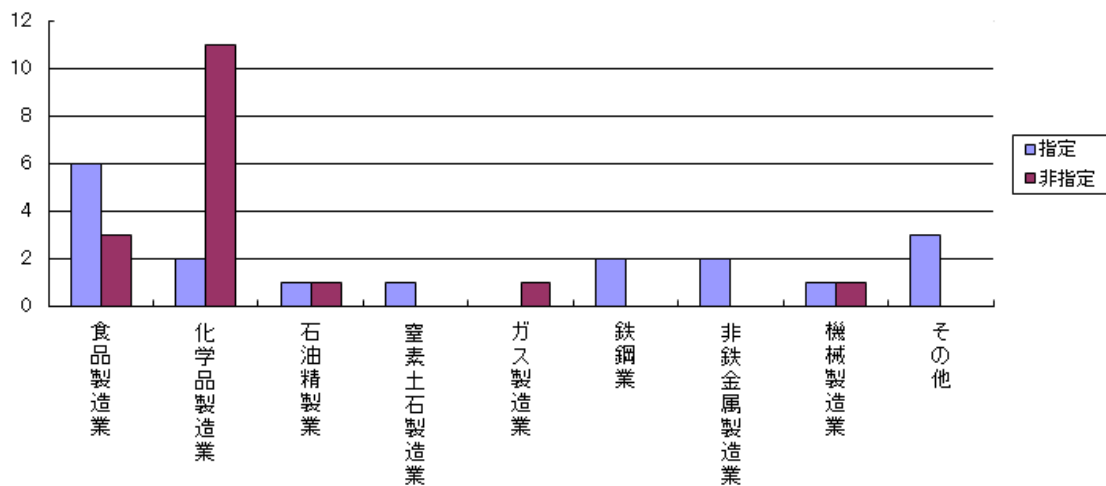


5. 適正計量管理事業所の指定

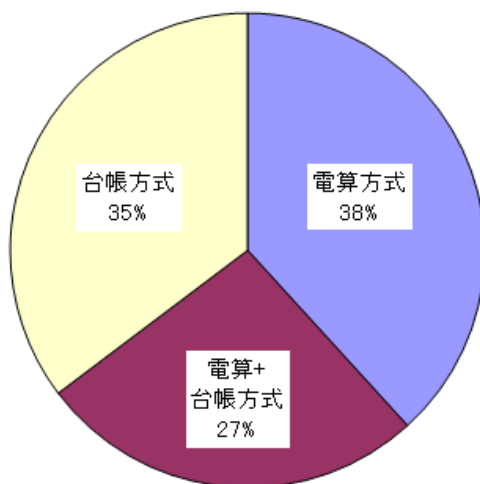
1) 全体の指定状況



2) 業種別指定状況

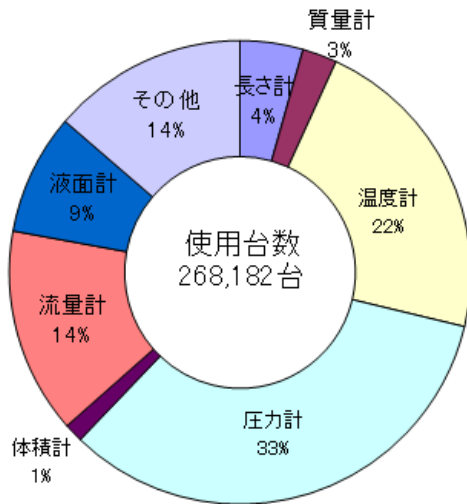


6. 計量器管理台帳等の管理方式

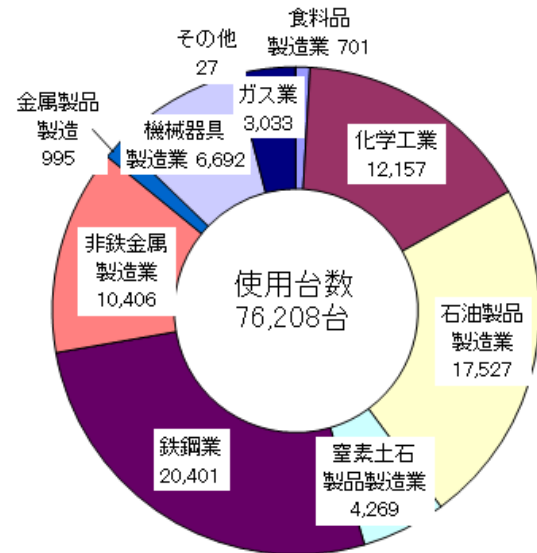


7. 一般計量器使用状況

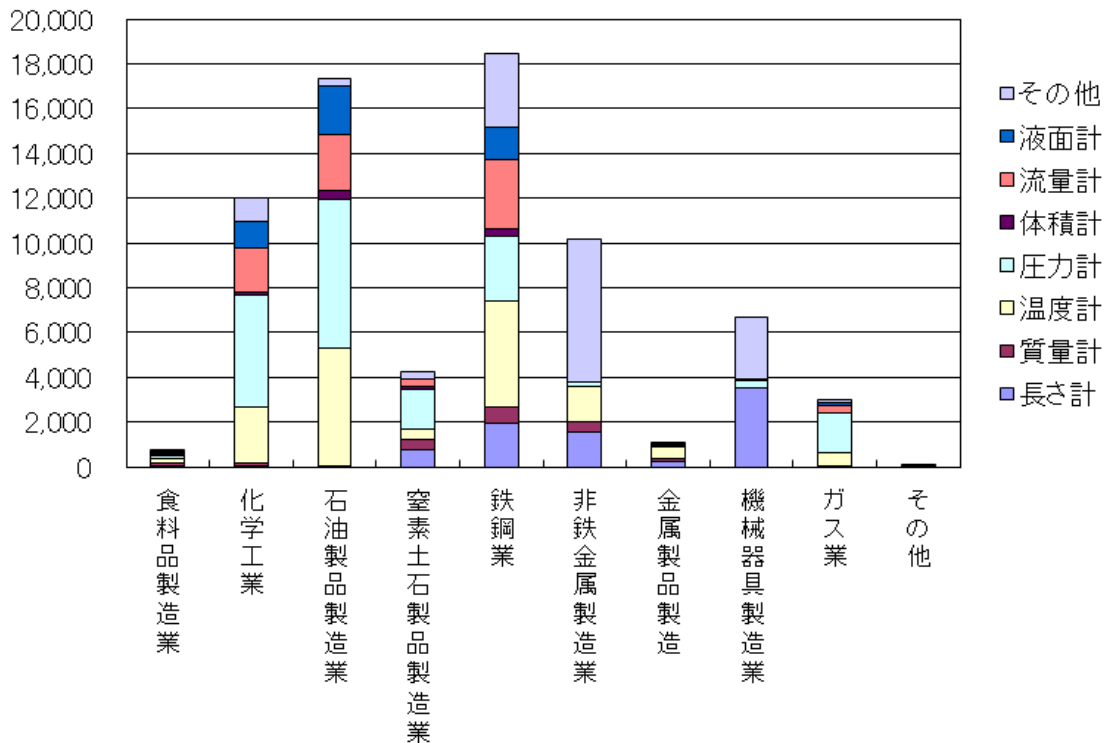
1) 機種別使用状況



2) 業務別計量器使用台数

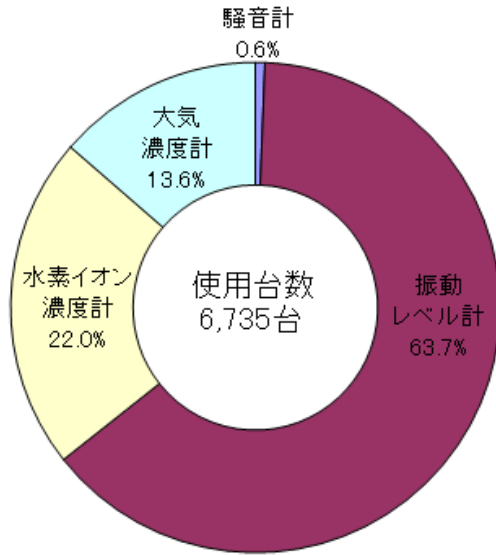


3) 業種別各計量器使用台数 (1事業所平均)

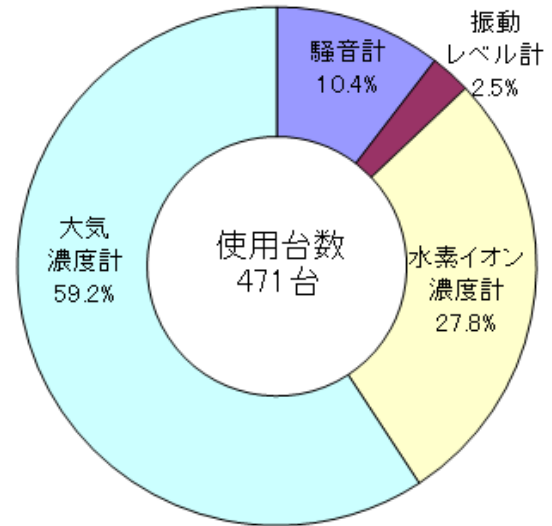


8. 分析計使用状況

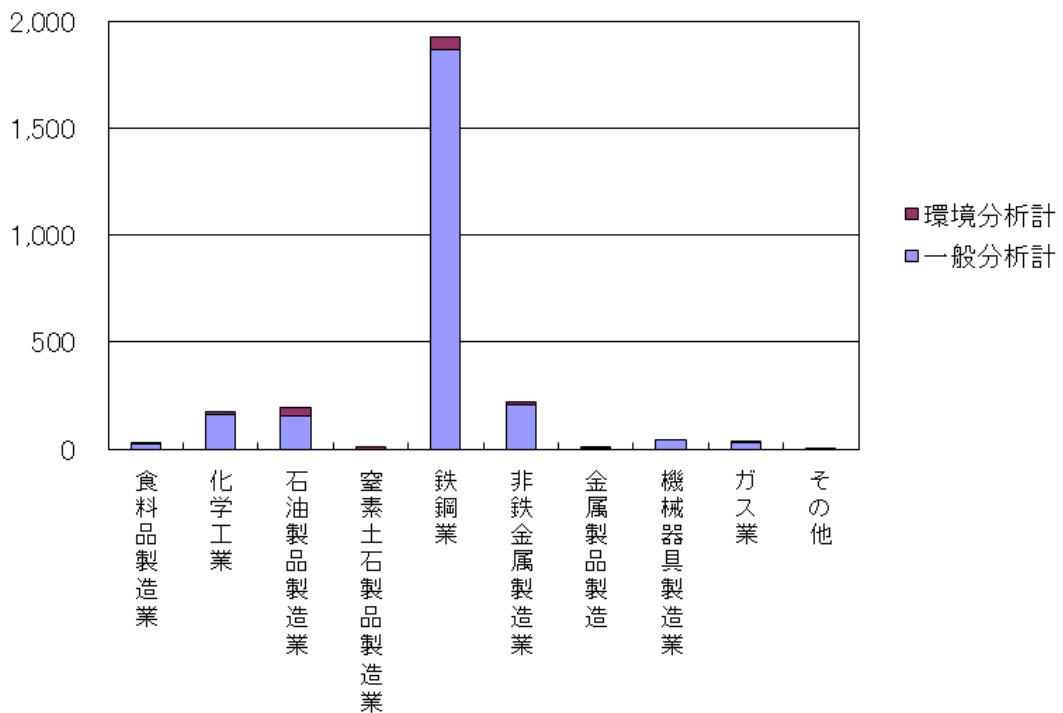
1) 一般用分析計使用台数



2) 環境用分析計使用台数



3) 業種別分析計使用台数(1事業所平均)



7. 千葉県計量行政 20 年(1995～2014)の変遷

千葉県計量検定所

千葉県計量管理協議会の創立 50 周年記念にあたり同会がどんな時代を背景に活動し発展してこられたかの参考資料として、千葉県における主な出来事と計量関係法令の変遷及び計量検定所の歴史を取り纏めてみました。

1) 主な出来事

年	千葉県の主なできごと	計量関係法令の歩み(概要)	
7	<ul style="list-style-type: none"> ○計量検定所に企画啓発課を新設、検査第一課と検査第二課を統合し検査課に改称し 6 課体制となる。 ○「ちば新時代五カ年計画」策定 ○千葉都市モノレールが千葉みなと・千葉間に開通。 	3 月 10 月 11 月 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ○日本品質保証機構(JQA)が ISO9000 の審査登録認定機関となる(H7.3.14) ○10 月 1 日、英国の計量単位、SI単位(メートル法)を施行。 ○第 20 回国際度量衡総会(パリ)(H7.10. 9～13) ○「アジア太平洋計量シンポジウム」(基準認証相互承認の方向をさぐる)(H7.10. 18) ○APEC 大阪会議で「大阪行動指針」採択(相互承認関連他)(H7.11.15～19) ○公的質量標準供給体制の改革(H7.12. 15 施行)
8	<ul style="list-style-type: none"> ○東葉高速鉄道の開業 ○「ちば新時代5か年計画」スタート ○県庁本庁舎の完成・供用開始 ○「病原性大腸菌 O-157」の県内発生 ○生涯学習センター・芸術文化センター・女性センターの複合施設「さわやかちば県民プラザ」オープン 	8 月 9 月 11 月	<ul style="list-style-type: none"> ○トレーサビリティ認定事業者に標準尺(線度器)を初認定(H9.8.7) ○質量計で外国企業初の指定製造事業者(H9.9.19) ○基準器検査受検者の限定規定の施行(H9.11.1) ○電子体温計の無検定品譲渡制限の規定施行(H9.11.1)
9	<ul style="list-style-type: none"> ○「ダイヤモンドグレース号」原油流出事故 ○幕張メッセで初の政府間国際会議として、ASEM(アジア欧州会合)経済閣僚会合を開催 ○東京湾アクアラインの開通 	3 月 4 月 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ○トレーサビリティ認定事業者にガラス製温度計を初認定(H10.3.19) ○計量法関係手数料の全面改正施行(H10.4.1) ○計量研究所、計量標準供給新体制へ組織全面整備(H10.4.1) ○地方分権推進委員会が定期検査等市町村委譲を勧告(H10.10.9)

年	千葉県の主なできごと	計量関係法令の歩み(概要)	
10	<ul style="list-style-type: none"> ○低迷する本県経済の活性化を図るため「千葉県総合経済対策本部」を設置 ○県内 2 番目の防災拠点として西部防災センターが松戸市にオープン ○運輸省・空港公団が成田空港における「地域と共生する空港づくり大綱」を公表 ○28 年ぶりに育成した米の新品種「ふさおとめ」が初出荷、レトルト落花生「郷の香(さとのか)」が発売デビュー ○総合産業支援施設「東葛テクノプラザ」がオープン ○全国トップレベルの循環器病に関する高度専門医療施設「循環器病センター」がオープン 	1 月	○計量研究所とオランダ計量研究所が「非自働はかり型式試験データ相互承認」覚書交換(H10.1.16)
		3 月	○計量標準センター開所式(H10.3.16) ○計量法施行令の一部を改正する政令(H10.3.27 政令第 90 号)
		4 月	○「体温計・血圧計」に関する販売事業届出の廃止施行(H10.4.1)
		7 月	○型式承認機関に外国(オランダ)機関を初指定(H10.7.17) ○第 7 回日中計量定期協議会(北京)(H10.7.28)
		9 月	○アジア太平洋質量・力計測会議(韓国)(H10.9.14~18)
		11 月	○計行審基本政策部会が地方分権、基準認証制度の計量法改正基本方向を提示検討(H10.11.11)
11	<ul style="list-style-type: none"> ○幕張新都心への 3 つの大型商業施設の立地決定 ○千葉県教育長期ビジョン「千葉の教育“夢・未来 2025”」の策定 ○幕張メッセ・幕張新都心 10 周年を迎え、各種記念事業が実施され、幕張メッセの通算来場者数も 6000 万人を突破、また、GLAY(グレイ)の 20 万人コンサートも開催 ○関東で初めての食の総合イベント「食メッセちば'99」を開催 ○日本貿易振興会アジア経済研究所の開所 ○千葉都市モノレール千葉駅・県庁前駅間開業 	7 月	○地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律第 345 条による計量法の一部改正(H11.7.16 法律第 87 号) ○中央省庁等改革のための国の行政組織関係法律の整備等に関する法律第 142 条による計量法の一部改正(H11.7.16 法律第 102 号)
		8 月	○通商産業省関係の基準・認証制度等の整理及び合理化に関する法律第 5 条による計量法の一部改正(H11.8.6 法律第 121 号)
		10 月	○第 21 回国際度量衡総会(パリ)(H11.10.11~15)
		12 月	○中央省庁等改革関係法施行法第 981 条による計量法の一部改正(H11.12.22 法律第 160 号) ○独立行政法人産業技術総合研究所法附則第 9 条による計量法の一部改正(H11.12.22 法律第 203 号) ○独立行政法人製品評価技術基盤機構法附則第 17 条による計量法の一部改正(H11.12.22 法律第 204 号)

年	千葉県の主なできごと	計量関係法令の歩み(概要)	
			○独立行政法人の業務実施の円滑化等のための関係法律の整備等に関する法律第 33 条による計量法の一部改正(H11.12.22 法律第 220 号)
12	<p>○介護保険制度がスタートし、これにあわせて高齢者の保健福祉政策を総合的に実施するための新たな「千葉県老人保健福祉計画」を策定</p> <p>○東京湾アクアラインの通行料金が引き下げられ、交通量も3割増加し、南房総の観光振興にも弾み</p> <p>○幕張新都心に新たな賑わいと活力をもたらすアウトレットモールなど4つの大型商業施設が次々とオープンし人気を集める</p> <p>○21世紀最初の総合5か年計画「新世紀ちば5か年計画」ーみんなでつくる未来のちばーを決定</p>	<p>4月</p> <p>5月</p> <p>8月</p> <p>10月</p> <p>11月</p>	<p>○基準器検査規則の一部改正(検査証印有効期間関係)(H12.4.7 省令第 97 号)</p> <p>○計量法施行令の一部を改正する政令(H12.5.8 政令第 221 号)</p> <p>○商法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法第 126 条による計量法の一部改正(H12.5.31 法律第 91 号)</p> <p>○特定計量器検定検査規則の一部改正(はかりの技術基準を OIML 国際勧告に全面的に整合化)(H12.8.9 省令第 147 号)</p> <p>○指定定期検査機関、指定検定機関及び指定計量証明検査機関の指定等に関する省令の一部を改正する省令(H12.8.9 省令第 148 号)</p> <p>○指定定期検査機関、指定検定機関及び指定計量証明検査機関の指定等に関する省令の一部を改正する省令(H12.10.13 省令第 228 号)</p> <p>○計量法附則第三条の計量単位の記号等を定める規則の一部を改正する省令(H12.10.13 省令第 229 号)</p> <p>○計量単位規則の一部を改正する省令(H12.10.13 省令第 230 号)</p> <p>○特定商品の販売に係る計量に関する省令の一部を改正する省令(H12.10.13 省令第 231 号)</p> <p>○計量法施行令附則第四条、第五条及び附則別表第四の規定に基づく質量計に係る経過措置に関する省令の一部を改正する省令(H12.10.13 省令第 245 号)</p> <p>○計量法施行令の一部を改正する政令(H12.11.15 政令第 475 号)</p> <p>○計量法施行規則の一部を改正する省令(H12.11.20 省令第 353 号)</p>

年	千葉県の主なできごと	計量関係法令の歩み(概要)	
			○特定計量器検定検査規則の一部を改正する省令(H12.11.20 省令第 354 号)
13	<p>○東京ディズニーランドの隣接地に東京ディズニーシーがグランドオープン</p> <p>○三番瀬の埋立計画の中止を表明、全国のモデルとなることを目指し、県民参加による保全と再生に向けた取り組みが始まる。</p> <p>○人命尊重の理念のもと、県民一人ひとりの主体的参加により「交通安全県ちば」を確立することを目指して、千葉県交通安全条例を制定</p> <p>○地方分権の推進、財政状況の悪化など急激な情勢変化に対応して重点的、戦略的な施策の推進を目指す「今後の県政運営に係る重点施策~ちば 2002 年アクションプラン~」を策定</p>	<p>3 月</p> <p>6 月</p> <p>9 月</p> <p>12 月</p>	<p>○通商産業省関係の基準認証制度等の整理及び合理化に関する法律、独立行政法人産業技術総合研究所法、独立行政法人製品評価技術基盤機構法等の法律の施行に伴い、計量法関連経済産業省令を改正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計量法施行規則の一部を改正する省令(H13.3.21 省令第 29 号) ・特定計量器検定検査規則の一部を改正する省令(H13.3.22 省令第 30 号) ・基準器検査規則の一部を改正する省令(H13.3.22 省令第 31 号) ・指定定期検査機関、指定検定機関及び指定計量証明検査機関の指定等に関する省令の一部を改正する省令(H13.3.22 省令第 32 号) ・計量法関係手数料規則の一部を改正する省令(H13.3.22 省令第 33 号) ・計量単位規則の一部を改正する省令(H13.3.22 省令第 34 号) ・指定製造事業者の指定等に関する省令の一部を改正する省令(H13.3.22 省令第 35 号) <p>○計量法第十六条第一項第二号イに規定する指定検定機関を指定する省令(H13.6.4 省令第 168 号)</p> <p>○計量法の一部を改正する法律(H13. 6.20 法律第 54 号)</p> <p>○計量法の一部を改正する法律の施行期日を決める政令(H13.9.5 政令第 279 号)</p> <p>○計量単位令等の一部を改正する政令(H13.9.5 政令第 280 号)</p> <p>○指定定期検査機関、指定検定機関及び指定計量証明検査機関の指定等に関する省令の一部を改正する省令(H13.9.5 省令第 188 号)</p> <p>○計量単位規則の一部を改正する省令(H13.9.5 省令第 189 号)</p> <p>○計量法施行規則の一部を改正する省令(H13.12.28 省令第 250 号)</p>

年	千葉県の主なできごと	計量関係法令の歩み(概要)	
14	<ul style="list-style-type: none"> ○成田空港の暫定平行滑走路が供用開始 ○「千葉主権」の確立に向け、「千葉からの『変革と創造』」及び「ちば2003年アクションプラン」を発表 ○手賀沼が27年間続いた湖沼水質全国ワースト1を返上 ○本県の人口が600万人に到達 ○行財政改革の推進に向け「行動計画」「財政再建プラン」を策定 	1月	○特定計量器検定検査規則の一部を改正する省令(H14.1.31 省令第21号)
		3月	○計量法施行規則の一部を改正する省令(H14.3.27 省令第47号)
		6月	○計量法施行令の一部を改正する政令(H14.6.25 政令第226号)
		7月	○計量法第二百一十一条の二に規定する特定計量証明認定機関を指定する省令(H14.7.19 省令第90号)
		8月	○計量法第二百一十一条の二に規定する特定計量証明認定機関を指定する省令の一部を改正する省令(H14.8.30 省令第96号)
15	<ul style="list-style-type: none"> ○第54回全国植樹祭の開催と天皇皇后両陛下の行幸啓 ○県内市町村の合併第1号として、新・野田市が誕生。9地域39市町村で法定合併協議会が設置されるなど、「平成の大合併」への取組が本格化 ○ディーゼル自動車の運行規制スタート ○徹底した住民参加と情報公開により行う政策提言型の「千葉モデル」方式により、三番瀬再生計画検討会議(三番瀬円卓会議)が再生計画素案を発表 	1月	○計量法施行規則の一部を改正する省令(H15.1.23 省令第4号)
		4月	○計量法第三百三十五条第一項に規定する指定校正機関を指定する省令の一部を改正する省令(H15.4.1 省令第54号)
		6月	○公益法人に係る改革を推進するための経済産業省関係法律の整備に関する法律第1条による計量法の一部改正(H15.6.11 法律第76号)
			○計量法関係手数料令の一部を改正する政令(H15.6.27 政令第287号)
		10月	○第22回国際度量衡総会(パリ)(H15.10.13~17)
16	<ul style="list-style-type: none"> ○新東京国際空港公団が民営化され、成田国際空港株式会社となった ○羽田空港再拡張後の飛行ルート案を国土交通省が修正し、県及び関係14市は基本的に了承 ○「あすのちばを拓く10のちから～千葉主権の確立～」を策定 	3月	○計量法施行令の一部を改正する政令(H16.3.24 政令第56号)
		4月	○特定計量器検定検査規則の一部を改正する省令(H16.4.27 省令第62号)
		5月	○計量法第三百三十五条第一項に規定する指定校正機関を指定する省令の一部を改正する省令(H16.5.20 省令第67号)
		12月	○計量法施行令及び計量法関係手数料令の一部を改正する政令(H16.12.22 政令第410号)

年	千葉県の主なできごと	計量関係法令の歩み(概要)	
17	<p>○平成 17 年度全国高等学校総合体育大会「2005 千葉きらめき総体」の開催</p> <p>○つくばエクスプレスの開業</p> <p>○千葉都市モノレール再建計画、県・市が合意</p>	<p>3 月</p> <p>8 月</p> <p>9 月</p>	<p>○計量法施行規則及び基準器検査規則の一部を改正する省令(H17.3.15 省令第 23 号)</p> <p>○計量法施行規則の一部を改正する省令(H17.3.30 省令第 37 号)</p> <p>○特定計量器検定検査規則の一部を改正する省令(H17.3.30 省令第 41 号)</p> <p>○計量法第二百一十一条の二に規定する特定計量証明認定機関を指定する省令の一部を改正する省令(H17.8.10 省令第 80 号)</p> <p>○計量法施行規則の一部を改正する省令(H17.9.30 省令第 95 号)</p>
18	<p>○障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」の制定</p> <p>○「あすのちばを拓く 10 のちから(改定版)」の策定</p>	<p>3 月</p> <p>9 月</p>	<p>○計量法関係手数料規則の一部を改正する省令(H18.3.28 省令第 14 号)</p> <p>○所得税法等の一部を改正する等の法律附則第 193 条による計量法の一部改(H18.3.31 法律第 10 号)</p> <p>○計量法施行規則の一部を改正する省令(H18.3.31 省令第 37 号)</p> <p>○計量法第三百三十五条第一項に規定する指定校正機関を指定する省令の一部を改正する省令(H18.9.11 省令第 87 号)</p> <p>○計量法附則第四条の計量単位等を定める政令の一部を改正する政令(H18.9.21 政令第 305 号)</p>
19	<p>○館山自動車道(東関東自動車道千葉富津線)が全線開通</p> <p>○中小企業を元気に!「千葉県中小企業の振興に関する条例」の制定及び「ちば中小企業元気戦略」の策定</p> <p>○大型観光キャンペーン「ちばDestinyネーションキャンペーン・房総発見伝」の開催</p>	<p>3 月</p> <p>5 月</p> <p>11 月</p>	<p>○特定計量器検定検査規則の一部を改正する省令(H19.3.30 省令第 28 号)</p> <p>○計量法施行令の一部を改正する政令(H19.5.16 政令第 164 号)</p> <p>○特定計量器検定検査規則の一部を改正する省令(H19.5.16 省令第 39 号)</p> <p>○第 23 回国際度量衡総会(パリ)(H19.11. 12 ~16)</p> <p>○計量法施行規則の一部を改正する省令(H19.11.16 省令第 71 号)</p>

年	千葉県の主なできごと	計量関係法令の歩み(概要)	
26	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 26 年度千葉の魅力発信の実施方針 ○千葉県消費生活基本計画(第二次)」の策定 ○「ちばアクアラインマラソン 2014」開催 	5 月	<ul style="list-style-type: none"> ○タクシーメーター、温度計、燃料油メーター、液化石油ガスメーター及び特殊容器製造業に関する特定計量器検定検査規則及び計量法施行規則を一部改正(H26.5.1 省令第 25 号)
		6 月	<ul style="list-style-type: none"> ○独立行政法人通則法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備に関する法律 162 条による計量法の一部改正(H26.6.13 法律第 67 号)
		11 月	<ul style="list-style-type: none"> ○第 25 回国際度量衡総会(パリ)(H26.11.18～20)

2) 計量検定所の歴史

(1) 沿革

明治8年に度量衡取締条例(太政官達第135号)が制定され、同24年度量衡法が公布され、本県においては明治31年千葉市内に千葉県常置度量衡検定所を設置し、その後経済部商工課に計量係を置き、本県における計量行政が本格的に開始された。

昭和27年3月	計量法の施行に伴い計量検定所と改称
昭和28年12月	千葉市吾妻町3丁目1番地に庁舎を建設
昭和38年12月	千葉市作草部町899番地に移転 国有財産(旧気球連隊施設・一部県有財産)を借用 総務課・業務課を設置
昭和39年4月	総務課・検定課・検査課に改組
昭和39年6月	事務所棟を新築
昭和29年12月	国有財産の一部を取得(木造平屋建 25.146 m ²)
昭和40年3月	タキシーメーター検査場を新築
昭和41年4月	総務課・検定第一課・検定第二課・検査課の4課に改組
昭和49年4月	総務課・検定第一課・検定第二課・検査第一課・検査第二課の5課に改組
昭和56年6月	検査第一課を検査課に検査第二課を指導課に改組
昭和59年12月	検定作業場を新築
昭和63年4月	総務課・検定第一課・検定第二課・検査第一課・検査第二課・指導課の6課に改組
平成4年4月	千葉市の政令指定都市移行に伴い住所表示を「千葉市稲毛区作草部町899番地」に変更
平成7年2月	住居表示に関する法律に基づき、住所表示を「千葉市稲毛区作草部一丁目18番3号」に変更
平成7年4月	総務課・企画啓発課・検定第一課・検定第二課・検査課・指導課の6課に改組
平成17年4月	総務課・企画啓発課・検定課・検査課・指導課の5課に改組
平成18年4月	総務課・企画指導課・検定課・検査課の4課に改組
平成20年4月	総務企画課・検定課・検査課の3課に改組
平成21年4月	総務企画課と検定・検査課の2課に改組
平成25年4月	計量検定所の主務課が保安課から産業振興課へ移行

(2) 組織と主な業務

- | | | |
|--------|---|--|
| 総務企画課 | } | <ul style="list-style-type: none"> ・計量業務の企画・調整、計量思想の普及 ・計量標準供給制度,SI単位の普及 ・家庭用計量器の精度確認事業 ・計量証明事業の登録事務 ・適正計量管理事業所の指定及び管理指導 ・環境計量証明事業用計量器(濃度・音圧レベル,振動加速度レベル)の検査 ・計量に係る立入検査及び指導 |
| 検定・検査課 | } | <p><検定担当></p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシメーターの装置検査 ・質量計, 温度計, 圧力計, 比重計等の特定計器の検定 ・ガスメーター, 燃料油メーター, 液化石油ガスメーターの検定 ・基準器検査 ・計量器の改善指導 <p><検査担当></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定計量器の定期検査 ・定期検査に係わる立入検査 ・計量士の代検査に関する事務 |

(3) 歴代所長

初代	小林 義雄	昭和27年4月～昭和38年3月
第二代	斎藤 勝夫	昭和38年4月～昭和42年3月
第三代	宇佐美 鋼三郎	昭和42年4月～昭和45年3月
第四代	斎藤 勝夫	昭和45年4月～昭和54年3月
第五代	田中 義一	昭和54年4月～昭和56年3月
第六代	小林 一正	昭和56年4月～昭和59年3月
第七代	中村 正夫	昭和59年4月～昭和62年3月
第八代	奥田 雅史	昭和62年4月～平成3年3月
第九代	小林 芳郎	平成3年4月～平成5年3月
第十代	藤代 渡	平成5年4月～平成6年3月
第十一代	鈴木 義衛	平成6年4月～平成10年3月
第十二代	江波戸 俊朗	平成10年4月～平成11年3月
第十三代	小野 俊一	平成11年4月～平成15年3月
第十四代	斉藤 博之	平成15年4月～平成16年3月
第十五代	青木 茂章	平成16年4月～平成17年3月
第十六代	佐久間 則夫	平成17年4月～平成19年3月
第十七代	菊池 忠義	平成19年4月～平成20年3月
第十八代	米谷 賢徳	平成20年4月～平成22年3月
第十九代	白井 幸雄	平成22年4月～平成24年3月
第二十代	小林 崇志	平成24年4月～平成26年3月
第二一代	秋場 秀樹	平成26年4月～

8. 広告特集

このたび当協議会創立 50 周年記念特集号発刊に
際しまして日頃より会員の皆様と深い関係のある各社
より広告掲載のご賛同が得られましたので、ここに
ご紹介し厚く御礼申し上げます。



生産設備のライフサイクルに応じた最適な 計装・電気のトータルサポートを提供致します

- 計装・電気のEPCからメンテナンスまで可能
 - 基本・詳細設計 ● 工事及び施工管理
 - 機器選定、調達 ● 一括保全業務・メンテナンス
- お客様の視点にそった問題解決
- トレサビリティ体系の確立による品質保証



旭国際テクネイオン株式会社

本社 東京都新宿区新宿1-1-14
TEL 03-5360-7740 FAX 03-3341-2996

京葉事業所 千葉県袖ヶ浦市椎の森385-3
TEL 0438-60-8601 FAX 0438-60-7602



祝 千葉県計量管理協議会 創立50周年

高品質なものづくりを支える JCSS校正サービス

アズビルグループは、これまでに培ってきた
高度な校正ノウハウや、計測器についての
膨大な知識を活かし、JCSS校正サービスを
提供いたします。

認定番号：0134
アズビル金門株式会社
校正サービスセンター【福岡県】
気体
流量計

認定番号：0155
アズビル株式会社
技術標準部 計測標準グループ【神奈川県】
圧力 温度
電気 温度
電気・温度計

認定番号：0274
アズビル株式会社
技術標準部 計測標準グループ
京都校正チーム【京都府】
液体
流量計

アズビルグループ
全国JCSS校正 事業所

JCSS校正証明書付
電磁流量計の販売も
開始しました。

2014年4月 JCSS 液体流量計の校正範囲拡大
流量範囲：0.002 ~ 5,090 m³/h
JCSS 校正事業者としては国内最大の流量範囲を達成

アズビルグループは、計測器メーカーとして、お客さまに製品を安全に安心して
使っていただけるよう、品質の要となる計測技術を地道に積み上げ、
JCSS校正事業者としての認定取得を進めています。

アズビル株式会社

アドバンスオートメーションカンパニー

2012年4月1日、株式会社 山武 は アズビル株式会社 へ社名を変更いたしました。

お問い合わせ/TEL:0466-20-2160



詳しくは…

アズビル JCSS校正

検索

計量器・計測機器

製造・販売・修理・保守管理
計量士による代検査・ISO関係検査

計量器・計測機器に関する御用は何でもご照会下さい

各種計量器販売・保守管理に貢献する

ETO
 恵藤計器株式会社

本社・工場

住所 〒261-0002
千葉市美浜区新港142-3
電話 043(242)0505 (代表)
FAX 043(243)2519
e-mail etokeiki@Saturn.plala.or.jp

恵藤計器株式会社は国際MRA対応 JCSS認定事業者に認定されました！



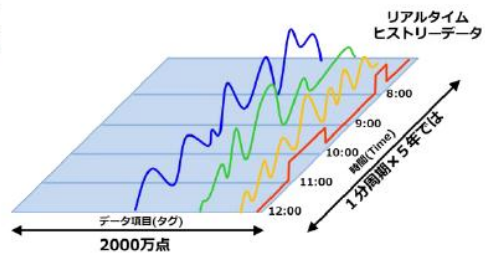
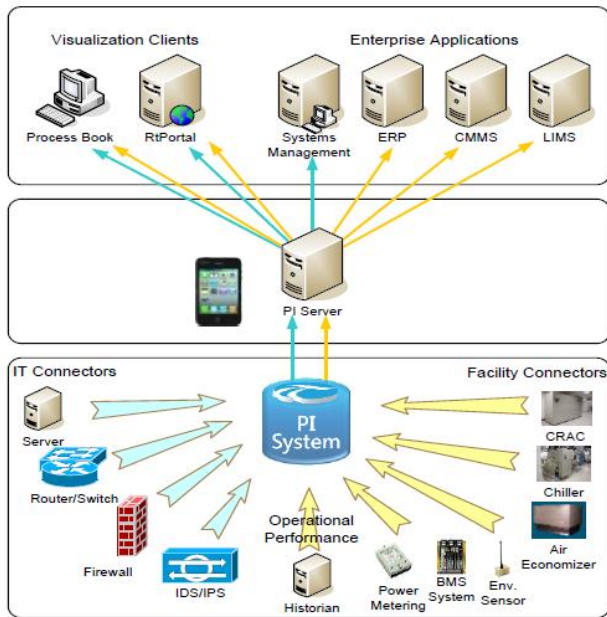
当社は、認定基準としてISO/IEC 17025(JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IA Japan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互認証に署名しています。当校正室は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS 0314 は当社校正室の認定番号です。

[平成26年5月22日付でJCSS認定事業者として登録]

JCSS校正をご依頼の際は、千葉県で唯一の認定事業者(質量)である当社にぜひお声がけください。



ひとつの標準システムで各社のシステムをつなぎ、リアルタイム「生ビッグデータ」の
収集 履歴 検索 分析 配信 可視化 を実現



リアルタイムに
 プラントの運転
 パフォーマンスを
 知りたい

あらゆるイベントの
 発生を把握したい

タービンの
 パフォーマンスを
 比較、分析したい

ポンプが停止中！
 原因は？

情報を全社的に共有
 し他システムとも連
 携させたい



OSIsoft®

PI System Overview



COLLECT

収集

プラント内のあらゆるデータを収集します。
標準インターフェースは450以上。



HISTORIZE

履歴

大量かつ長期間にわたるデータを少ないディスク容量に保存することを可能。しかも過去のデータも瞬時に呼び出しが可能です。



FIND

検索

膨大なデータ項目階層化、体系化（設備、組織、目的…）して必要な項目を素早く見つけ出します。



ANALYZE

分析

様々な計算式の作成支援ツールを提供しています。作成した計算式は複数のアセットに適用できます。バッチプロセス管理ツールも完備しています。



DELIVER

配信

注意すべきイベントが起こった時、適切な担当者に場所を問わずアラートが送信され、問題にすぐ対処することができます。



VISUALIZE

可視化

パソコンやモバイル、様々なデバイスからデータと閲覧と共有が可能です。その表示形式も自在にカスタマイズできます。

OSIsoft について

OSIsoftはオペレーション情報管理の世界的なリーディングカンパニーです。製品のPI Systemはセンサーデータ、オペレーション、ヒトを繋ぎ、エンタープライズ・インフラストラクチャとしてリアルタイムで即断・即行動を実現する洞察力を提供します。OSIsoftは流れ続けるデータをビジネスの充実と適正化をもたらす力に変え、石油探索、抽出、生産、発電など、プロセス産業や組立産業をはじめ、流通業、サービス産業などさまざまな業界のビジネスに貢献しています。OSIsoftのお客様は30年以上にわたり、プロセスや品質、資産設備、エネルギー、安全などの管理からコンプライアンス遵守やセキュリティまでPI Systemを活用してきています。OSIsoftは1980年設立。米国カリフォルニア州サンレアンドロに本社をおき、グローバルにビジネスを展開しています。

OSIsoftジャパン株式会社 www.osisoft.co.jp

〒105-0014 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビル8階 03-5418-7690 (代表)

YUME  TRONICS

無限大

夢 × 技 = ∞

安らぎと喜びがある。

生み出すための第一歩は

夢からもらった。

形を築くための第一歩は

技からもらった。

ふたつの可能性が出会う時

私たちのフィールドは

無限大です。



私達の生活環境に必要な
電気設備・エネルギー
情報通信・環境の分野で
社会に貢献する
事業を展開しています。

何時もあなたの街で、
お会いしている
クリハラ。

電気・情報通信・計装・土木・空調
 栗原工業株式会社

本社/〒530-0017
東京本店/〒105-0014
東関東支社/〒260-0013

大阪市北区角田町1-1
東京都港区芝3-24-7
千葉市中央区中央3-10-6

TEL.06(6313)1101
TEL.03(6400)3001
TEL.043(221)5671



KH NeoChem

KHネオケム、新たなステージへ。

私たちは、価値ある素材とサービスを
安定供給する化学メーカーとして
世界の人々の豊かさに貢献するため、
信頼を軸として更なるグローバル展開を
進めてまいります。

KHネオケム株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-6-5 ツカモトビル
TEL:03-3510-3550 FAX:03-3510-3571
(国内ネットワーク)大阪支店、四日市研究所、四日市工場、千葉工場

<http://www.khneochem.co.jp/>

トラブルの許されない計装設備は 常にベストコンディションが基本です。

当社では温度、圧力、電気、液面、分析など、あらゆるメンテナンスに対応する国内屈指のキャリブレーション技術を軸に、総合的なメンテナンスサービスを展開。お客様の計装設備が常にベストコンディションに保たれることをお約束致します。



- 計装全般におけるキャリブレーション・バリデーション業務 (計器、制御システムの校正、調整、試験、試運転)
- 分析計・流量計現地校正、調節弁OH・調整
- 制御盤、計装ラックおよび動力盤設計・製作
- 計測器受託校正 (TPM、GMP、HACCP、ISO9000Sなどの基準・規格に適合)
- 計装、電気、配管エンジニアリング (工事設計、施工)



三興コントロール株式会社

本 社

〒230-8535 横浜市鶴見区江ヶ崎3-3

TEL: 045-583-9162

FAX: 045-583-9170

千葉出張所

〒299-0106 市原市今津朝山356-5

TEL: 0436-62-5491

FAX: 0436-62-5493

電気・計装 エンジニアリングから一括メンテナンスまで

私たちは「建設工事」、「メンテナンス」の2つの柱で様々な分野の建設プランニングからメンテナンスまでを行う“トータルプランニング”を行っております。石油精製・石油化学プラントを築きあげてきた実績と技術力を活かし、椎の森センター(千葉県袖ヶ浦市)での電動機点検・整備や回転機絶縁診断車を導入しお客様工場での試験診断など今後も多様化する顧客ニーズにお応えしてまいります。



ASTEC
SHOWA ASTEC

〒105-0021 東京都港区東新橋2-8-1
パラッツォアステックビル
TEL 03-3437-3851
<http://www.s-astec.co.jp>

振れ止め一体型ロードセル式

実用新案 ホツパ®重量計

水平許容荷重が大きく、水平震度1.0にも耐える振れ止め機構を採用



振れ止め一体型ロードセル

- タスキ不要の振れ止め機構付
- 水平許容荷重が大きく、あらゆる用途に適用可能
- 組込みが容易で省スペース・据付け費削減を実現
- 浮上り防止対応可 (オプション)



JFE アドバンテック 株式会社

URL: <http://www.jfe-advantech.co.jp/>

JFE

本社・本社工場 〒663-8202
(西宮地区)

兵庫県西宮市高畑町3-48

TEL.0798-66-1507 FAX.0798-65-7395

(計量事業部 大阪営業グループ)

東京本社 〒111-0051

東京都台東区蔵前2-17-4(JFE蔵前ビル2F)

TEL.03-5825-5577 FAX.03-5825-5591

独自の技術と発想で 計量計測の精度と操作性を追求

精密計量をはじめ多様な計量計測の現場で実力を発揮します



乾電池駆動のコンパクトな
本質安全防爆構造電子天びん CZseries



最小表示0.01mgの
セミマイクロ電子天びん XFRseries



ブルーキューブ[®]
Proof³
防爆・防塵・防水

2種の表示器と多彩なラインナップで
多様な防爆現場のニーズに対応する
本質安全防爆構造電子はかり
FZ/FZ-KP/FZ-K/FZ-KFseries



IR通信で計量データを保存
本質安全防爆構造データロガー
DLZ-200

未来をはかる
新光電子株式会社

本社・東京営業部 / 〒113-0034 東京都文京区湯島3-9-11 TEL:03-3831-1051
関西営業部 / 〒651-2132 神戸市西区森友2-15-2 TEL:078-921-2551
名古屋営業所 / 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-6 TEL:052-561-1138
[開発・製造] つくば事業所

<http://www.vibra.co.jp>



当社つくば事業所校正室は、
国際MRA対応JCSS認定事業者です。
JCSS認定番号:0168

第一類危険箇所へ 本質安全防爆計量器



TANAKAの本質安全防爆計量器シリーズはマルチロードセルタイプ。だから

- オールステンレス
- 超薄型
- 積載寸法フリー設計

が可能です。
もうはかりに現場を合わせなくてもOK。
もうピットを掘らなくてもOK。
はかりが現場に合わせます。



UT II -sbXシリーズ
超薄型オールステンレス

防爆等級 EX ib II B T4

労検 第TC20564号

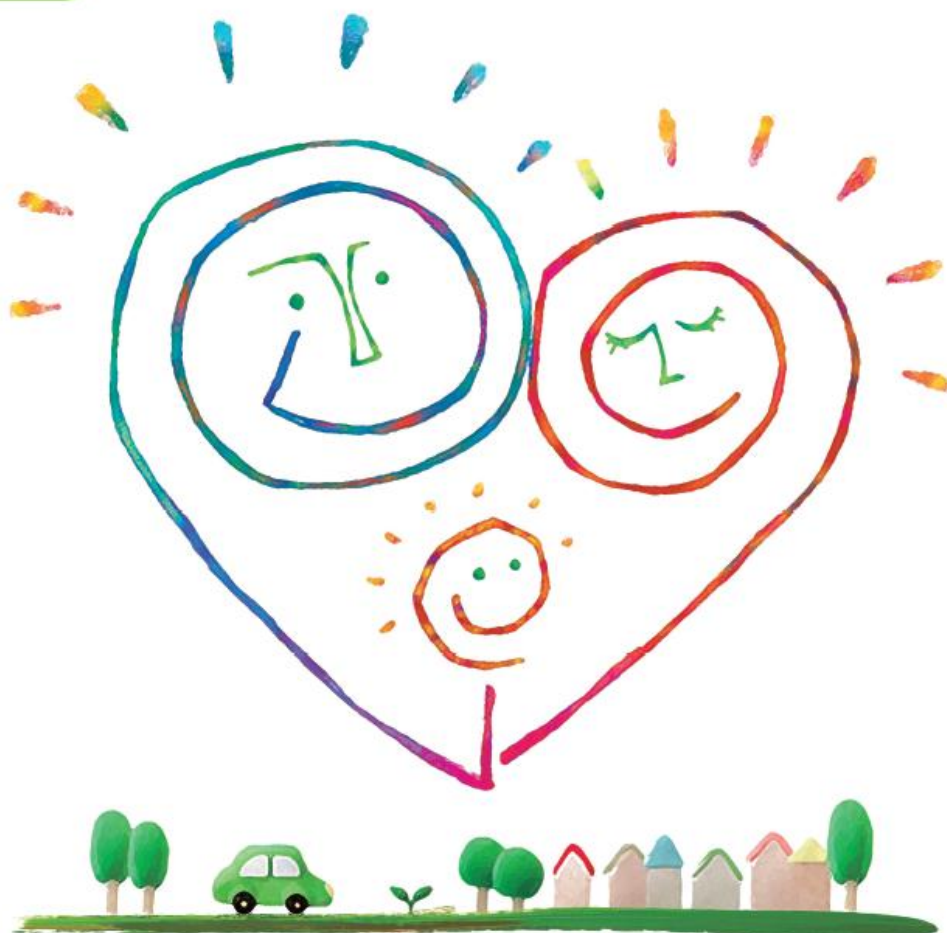
精度等級3級 特定計量器(検定付)

株式会社 田中衡機工業所

URL <http://www.tanaka-scale.co.jp>

本 社 〒959-1145 新潟県三条市福島新田丙2318-1
TEL 0256-45-1251 FAX 0256-45-2204
東京支店 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-6-7
TEL 03-3263-4531 FAX 03-3262-6918

関西支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2-13-2
TEL 06-4861-2266 FAX 06-4861-2277
東北営業所 〒983-0021 宮城県仙台市宮城野区田子3-1-5
TEL 022-388-6401 FAX 022-388-6402
福岡営業所 〒816-0823 福岡県春日市若葉台西6-47
TEL 092-572-1822 FAX 092-571-2462



うれ^{シー}、
たの^{シー}、
ディー アイ シー
DIC

化学で暮らしをステキにしたい！
うれしい笑顔、たのしい笑顔が見たいから。

DICは、「化学で彩りと快適を提案する」ケミカルカンパニーです。

ディーアイシー
DIC株式会社



フジキンカープグループ



ありがとうございます

おかげさまによりまして

超モノづくり部品大賞

11

年連続 **+8** 受賞

2014年

第11回「超モノづくり部品大賞 奨励賞」受賞

平成13年 国土交通省 受賞



電気二重層キャパシタ内蔵 電動高速開閉弁

2013年 第10回 「モノづくり部品大賞 電気・電子部品賞」受賞 フローレシオ コントローラ 	2012年 第9回 「モノづくり部品大賞 機械部品賞」受賞 スティック IGS 	2011年 第8回 「モノづくり部品大賞 奨励賞」受賞 高機能サニタリー用 ソフトダイヤフラムバルブ 	2010年 第7回 「モノづくり部品大賞 機械部品賞」受賞 高温250℃対応 圧力制御式 ガス流量制御器 	2009年 第6回 「モノづくり部品大賞 機械部品賞」受賞 気体作動高耐久ダイレクトダイヤフラムバルブ
2008年 第5回 「モノづくり部品大賞 環境関連部品賞」受賞 燃料電池自動車 高圧水素ガス 充てん機用 制御弁・遮断弁 	2007年 第4回 「モノづくり部品大賞 奨励賞」受賞 圧力制御式流量コントローラ FCS 	2006年 第3回 「モノづくり部品大賞 機械部品賞」受賞 電子バルブ プレトロニック SR100E 	2005年 第2回 「モノづくり部品大賞 奨励賞」受賞 電動小型ダイレクトダイヤフラムバルブ ECV 	2004年 第1回 「モノづくり部品大賞 部品賞」受賞 高性能超小型メタルガスケット継手 UPG

+8 2014年

経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選」受賞

+7 2013年

高潔浄度のクリーンバルブをベトナムで生産、品質とコストの両立を実現



アジアものづくり共有体体制を加速します。

VSIPバクニン(ベトナムシムラポールIndustrial Park バクニン)のフジキン BAC NINH INC が経営するレンタル工場の入居募集開始

+6 2011年

第6回「モノづくり連携大賞 特別賞」受賞

「高品質な半導体製造を可能にする 小型気化供給ユニットの開発」

+5 2005年

IGS ガス供給システムに「画期的」な技術革新! 世界NO.1のシェアを誇る集積化ガス供給システム

+4 2001年

黄綬褒章 受章

+3 1984年

米国パーラー賞 受賞

+2 1983年

化学プラントショー 優秀製品賞

+1 1982年

10大新製品賞 受賞

アラ・コラ先募集 皆様とのアライアンス・コラボレーションを求めています。ぜひ、ご一報をお待ちしております。

ながれのあるところすべてにフジキンの技術があります。

(HP) <http://www.fujikin.co.jp/> (ネット販売) <http://ec.fujikin.co.jp/>

エネルギーの安定供給が私たちの使命です

環境にやさしい良質な石油製品などのエネルギー資源を
安全かつ安定的に生産・供給します。



富士石油株式会社

www.foc.co.jp

本社：東京都品川区東品川二丁目5番8号 03 (5462) 7761

袖ヶ浦製油所：千葉県袖ヶ浦市北袖1番地 0438 (63) 7011

非接触で安全に測定する液体流量計！
富士電機の超音波流量計シリーズ

Portaflow-C

SDカード内蔵、
 バッテリー駆動の
 ハンディタイプ



適用配管口径：φ13～φ6000mm

M-Flow PW

耐気泡性能を向上した
 小形・軽量タイプ



適用配管口径：φ25～600mm

TIME DELTA-C

耐気泡性に優れた
 普及タイプ



適用配管口径：φ13～6000mm

多機能タイプ
TIME DELTA-C

2 配管同時測定、
 1 配管 2 測線測定、
 熱量演算機能搭載



適用配管口径：φ13～6000mm

超音波流量計の特長

- 配管工事不要でトータルコストダウン
- 設備稼働中でも取り付け工事が可能
- 非接触測定なのでメンテナンスフリー
- ポータブルタイプ(バッテリー駆動)によるフィールド各点測定
- 用途に応じた豊富な品揃え

主な用途

- 上下水道の流量測定
- 食品機械の原料や先浄水流量測定
- 半導体製造の純水流量測定
- 空調の冷・温水流量、消費熱量測定
- 配管内の流速分布測定

FE 富士電機株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号 (ゲートシティ大崎イーストタワー) <http://www.fujielectric.co.jp>

北海道地区	TEL(011)221-6407	中部地区	TEL(052)746-1014	中国地区	TEL(082)247-4233
東北地区	TEL(022)225-5355	北陸地区	TEL(076)293-0270	四国地区	TEL(089)933-9100
関東地区	TEL(03)5435-7041	関西地区	TEL(06)6455-6790	九州地区	TEL(092)262-7808

計測機器のホームページ <http://www.fujielectric.co.jp/products/instruments>

スマートタイプガス検知部

シンプルで、強い。ガス検知器のスタンダード。



本体内蔵ポンプによる
吸引式

MODEL SD-D58 シリーズ

- ・防爆等級：Exd II B+H2T4 取得
- ・購入時に電源選択可能（AC 電源 or DC 電源）
- ・ワンマンメンテナンス可能
- ・流量低下検出機能付き

使用温度範囲：-20～+53℃（急変無きこと）
外形寸法：約 197(W)×286(H)×140(D) mm
質量：約 5.8 kg
ラインナップ：可燃性ガス用、毒性ガス用



拡散式

MODEL SD-1 シリーズ

- ・水素、アセチレン雰囲気下でも測定可能
（防爆等級：Exd II C T4 取得）
- ・自己診断機能付き
- ・豊富なラインナップ

使用温度範囲：-20～+53℃（急変無きこと）
外形寸法：約 148(W)×161(H)×88(D) mm
質量：約 2.0 kg
ラインナップ：可燃性ガス用、毒性ガス用
一酸化炭素 又は 硫化水素用、酸素用



石油化学プラント



石油精製工場

各種プラント
大規模工業施設の
保安全管理に

理研計器株式会社

本社
ホームページ
営業本部

〒174-8744 東京都板橋区小豆沢2-7-6
<http://www.rikenkeiki.co.jp/>
TEL(03)3966-1111 FAX(03)3558-0043

■ 営業所・出張所

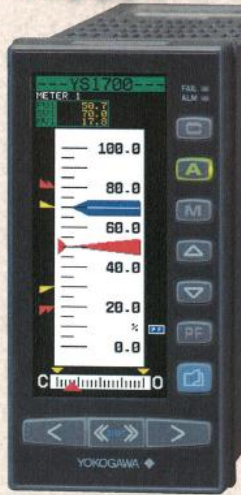
札幌 (011)757-7505 / 仙台 (022)722-7835 / 鶴岡 (0235)28-3156 / 千葉 (043)214-3565 / 神奈川 (045)476-7581
水戸 (029)306-9321 / 埼玉 (048)548-8711 / 名古屋 (052)411-3636 / 浜松 (053)437-9421 / 四日市 (059)333-7221
金沢 (076)226-8247 / 大阪 (06)6350-5871 / 神戸 (078)261-3031 / 水島 (086)446-2702 / 四国 (0897)37-3775
広島 (082)875-4151 / 徳山 (0834)27-5121 / 福岡 (092)691-6372 / 大分 (097)523-3811 / 熊本 (096)373-1230

リニューアル

**信頼のシングルグループ
コントローラ**

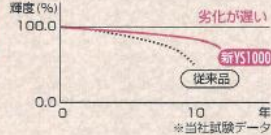
減税

※詳細は営業担当者にご相談ください。



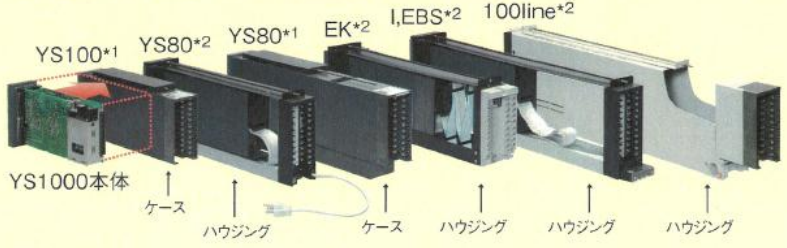
YS1000™ Series

- YS1700 プログラム指示調節計**
 - YS1500 指示調節計**
 - YS1310 指示警報計**
 - YS1350 手動設定器(調節計用)**
 - YS1360 手動操作器(操作端用)**
- お客様へ価値の提供**
長年培った品質と信頼を搭載したYS1000をお客様に提供し続けます。
- 抜群に見やすい表示**
TFT液晶採用によりさらに見やすくなりました。
●視野角が広がりました。(左右上下 当社比1.5倍以上)
●LEDバックライトにより輝度がアップしました。(輝度当社比2.5倍以上)
●コントラストがアップしました。(当社比20倍以上)
- 出力を保持しながらディスプレイの交換が可能**
ディスプレイユニットの交換は当社サービスマンが行います。LCD推奨交換周期:8年



リプレイス用ケース・ハウジング

YS1000シリーズでは、横河電機製の機器(EBS、Iシリーズ、EKシリーズ、HOMAC)のリプレイス用ケースおよびハウジングを用意しています。リプレイスの為に計装パネルを加工する必要はありません。また、メータ画面を搭載した計器前面デザインにより、アナログ計器からも違和感無く更新できます。



*1:ケース互換 = ケースごとリプレイス *2:ハウジング互換 = 互換ハウジングを使用してリプレイス(ハウジングは別途手配してください)

操作性と機能が大幅アップ。設定ソフトウェア らくらくプログラミング

実績の「テキスト方式」 **既存プログラム変換可能**

YS170
ユーザプログラム上位互換
YS170用
変換ツールを用意

SLPC
ユーザROM
変換ツールを用意

プログラム容量
1000step対応
従来機種との2.5倍(当社比)

STEP	PROGRAM	COMMENT
1	LD 00 1	
2	WT 1	
3	GI 8	
4	LD 6 00	
5	ST FL11	
6	LD P 1	
7	ST 1	
8	LD 00 4	
9	WT 1	
10	GI 24	

直感的な「モジュール結合方式」 **ご好評**

オンラインモジュールモニター

プログラム容量
400モジュール対応

**演算モジュールを確認しながら結合すれば
70プログラム完成**

楽になったネ!!

プログラム容量が増え、より複雑な機能を構築することが可能になりました。ユーザプログラムの上位互換性により、ユーザプログラム資産の有効活用ができます。

直感的に分かりやすいモジュール結合プログラミングを採用しました。オンラインモジュールモニターにより、ユーザプログラミングの動作確認ができます。

横河電機株式会社 総合代理店
横河商事株式会社
■千葉支店/〒299-0111 市原市姉崎 541 小池ビル 4F ☎0436-61-4310

千葉県計量管理協議会々報(No.175)

—創立 50 周年記念特集号—

平成 26 年 10 月 17 日

(発行所)千葉県計量管理協議会

(特集号編集委員)

伊 藤 幸 彦 (DIC)

藤 原 航 (富士石油)

石 川 克 彦 (三井造船)

藤 原 善 治 (JFEアドバンテック)

河 野 篤 志 (恵藤計器)

佐 保 文 彦 (旭国際テクネイオン)

齋 藤 秀 一 (日本曹達)

小 出 勉 (KHネオケム)

米 谷 賢 徳 (千葉県計量協会事務局長)